

# Dell EMC XC430 Xpress ハイパーコンバージドアプリ イアンス

サービスおよび設置マニュアル

## メモ、注意、警告

① **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2017 すべての著作権は Dell Inc. またはその子会社にあります。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

# 目次

<b>1 お使いのシステムについて.....</b>	<b>6</b>
XC430 Xpress でサポートされている構成 .....	6
前面パネルの機能とインジケータ.....	7
背面パネルの機能とインジケータ.....	8
診断インジケータ.....	9
前面パネルの診断インジケータ.....	9
ハードドライブインジケータコード.....	10
NIC インジケータコード.....	11
内部 SD モジュールのインジケータコード.....	12
iDRAC ダイレクト LED インジケータコード.....	13
冗長電源ユニットのインジケータコード.....	14
お使いのシステムのサービスタグの位置.....	15
<b>2 参照文書.....</b>	<b>16</b>
<b>3 技術仕様.....</b>	<b>17</b>
<b>4 システムの初期セットアップと設定.....</b>	<b>18</b>
システムのセットアップ.....	18
iDRAC 設定.....	18
iDRAC へのログイン.....	18
ファームウェアとドライバをダウンロードする方法.....	18
ドライバとファームウェアのダウンロード.....	19
<b>5 セットアップユーティリティ.....</b>	<b>20</b>
<b>6 システムコンポーネントの取り付けと取り外し.....</b>	<b>21</b>
安全にお使いいただくために.....	21
システム内部の作業を始める前に.....	22
システム内部の作業を終えた後に.....	22
推奨ツール.....	22
前面ベゼル ( オプション ) .....	22
オプションの前面ベゼルの取り外し.....	23
オプションの前面ベゼルの取り付け.....	23
システムカバー.....	24
システムカバーの取り外し.....	24
システムカバーの取り付け.....	25
システムの内部.....	27
冷却エアフローカバー.....	27
冷却エアフローカバーの取り外し.....	28

冷却エアフローカバーの取り付け.....	29
システムメモリ.....	29
メモリモジュール取り付けガイドライン.....	31
モードごとのガイドライン.....	32
メモリモジュールの取り外し.....	32
メモリモジュールの取り付け.....	33
SATADOM.....	35
SATADOM についての重要な情報.....	35
SATADOM の取り外し.....	35
SATADOM の取り付け.....	37
ハードドライブ.....	37
ホットスワップ対応ハードドライブキャリアの取り外し.....	37
ホットスワップ対応ハードドライブキャリアの取り付け.....	38
ハードドライブキャリアからのハードドライブまたはソリッドステートドライブの取り外し.....	40
ハードドライブキャリアへのハードドライブまたはソリッドステートドライブの取り付け.....	40
冷却ファン.....	41
冷却ファンの取り外し.....	41
冷却ファンの取り付け.....	42
拡張カードと拡張カードライザー.....	44
拡張カードの取り付けガイドライン.....	44
拡張カードライザーの取り外し.....	45
拡張カードライザーの取り付け.....	46
拡張カードの取り外し.....	47
拡張カードの取り付け.....	48
iDRAC ポートカード.....	49
内部 SD モジュール.....	49
内部 SD モジュールの取り外し.....	49
内部 SD モジュールの取り付け.....	51
電源装置ユニット.....	52
ホットスワップ機能.....	53
システムバッテリー.....	55
システムバッテリーの交換.....	55
<b>7 システム診断プログラムの使用.....</b>	<b>57</b>
Dell 組み込み型システム診断.....	57
組み込み型システム診断プログラムを使用する状況.....	57
起動マネージャからの組み込み型システム診断プログラムの実行.....	57
Dell Lifecycle Controller からの組み込み型システム診断プログラムの実行.....	57
システム診断プログラムのコントロール.....	58
<b>8 ジャンパとコネクタ.....</b>	<b>59</b>
システム基板のジャンパ設定.....	59
システム基板のコネクタ.....	60

パスワードを忘れたとき.....	62
<b>9 困ったときは.....</b>	<b>63</b>
Dell EMC へのお問い合わせ.....	63
マニュアルのフィードバック.....	63
QRL によるシステム情報へのアクセス.....	63
XC430 Xpress 用の Quick Resource Locator.....	64

## お使いのシステムについて

XC430 Xpress ハイパーコンバージドアプライアンスは、最大 2 台の Xeon E5-2600 v4 プロセッサ、最大 12 枚の DIMM、および 3 台のハードドライブと 1 台のソリッドステートドライブ (SSD) をサポートします。

トピック：

- XC430 Xpress でサポートされている構成
- 前面パネルの機能とインジケータ
- 背面パネルの機能とインジケータ
- 診断インジケータ
- お使いのシステムのサービススタグの位置

## XC430 Xpress でサポートされている構成

XC430 Xpress は、次の構成をサポートしています。

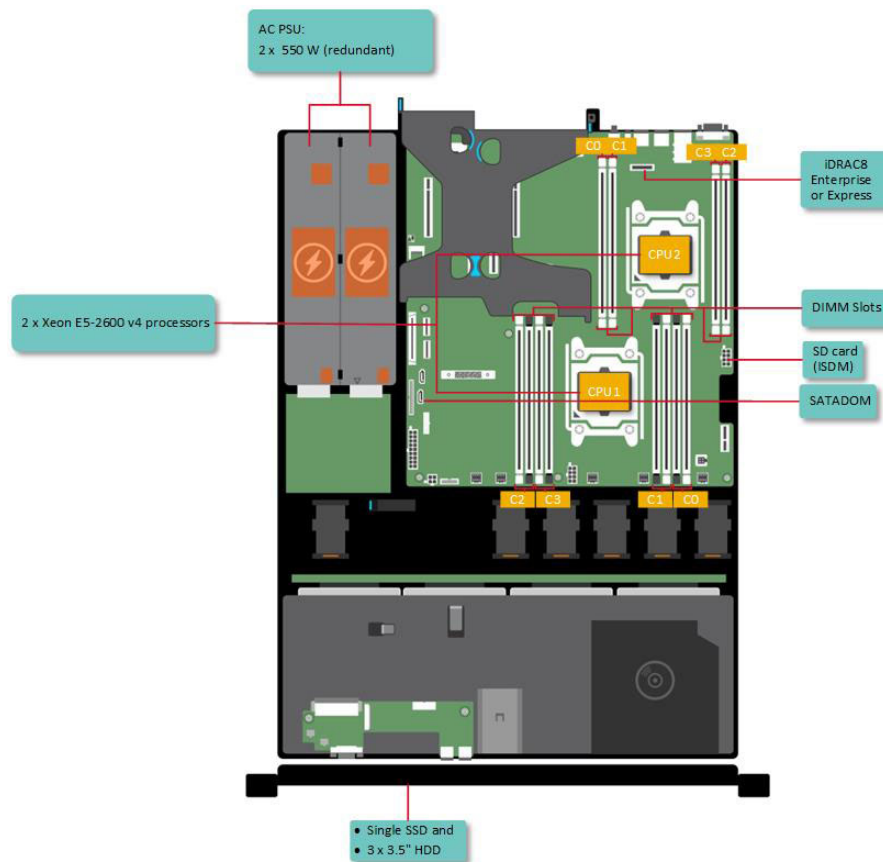


図 1. XC430 Xpress でサポートされている構成

# 前面パネルの機能とインジケータ

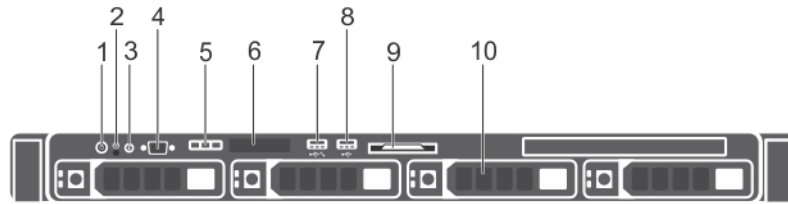



図 2. 前面パネルの機能とインジケータ

表 1. 前面パネルの機能とインジケータ

アイテム	インジケータ、ボタン、またはコネクタ	アイコン	説明
1	電源インジケータ、電源ボタン		<p>電源インジケータは、システムの電源が入っている時に点灯します。電源ボタンによってシステムへの電源の供給を制御します。</p> <p><b>① メモ: ACPI 対応の OS では、電源ボタンを使ってシステムの電源を切ると、システムの電源が切れる前にシステムが正常なシャットダウンを行います。</b></p>
2	NMI ボタン		<p>特定の OS の実行中に、ソフトウェアエラーおよびデバイスドライバエラーのトラブルシューティングに使用します。このボタンはペーパークリップの先端を使って押すことができます。</p> <p>このボタンは、認定を受けたサポート担当者によって指示された場合、または OS のマニュアルで指示されている場合にのみ使用してください。</p>
3	システム識別ボタン		<p>前面パネルと背面パネルの識別ボタンは、ラック内の特定のシステムの位置を確認するために使用します。これらのボタンの 1 つを押すと、前面の LCD パネルと背面のシステムステータスインジケータは、ボタンの 1 つがもう一度押されるまで点滅を続けます。</p> <p>ボタンを押してシステム識別のオン / オフを切り替えます。</p> <p>POST 中にシステムの反応が停止した場合は、システム識別ボタンを 5 秒以上押し続けて BIOS プログレスモードに入ります。</p> <p>iDRAC をリセットするには ( F2 iDRAC セットアップで無効に設定されていない場合 )、ボタンを 15 秒以上長押しします。</p>
4	ビデオコネクタ		ディスプレイをシステムに接続するときに使用します。
5	LCD メニューボタン		コントロールパネル LCD メニューの切り替えに使用します。
6	LCD パネル		システム ID、ステータス情報、システムエラーメッセージが表示されます。
7	USB 管理ポートまたは iDRAC 管理下の USB ポート		USB 管理ポートは通常の USB ポートとして機能し、iDRAC 機能へのアクセスを提供します。詳細に関しては、 <a href="http://Dell.com/idracmanuals">Dell.com/idracmanuals</a> にある『iDRAC User's Guide』( iDRAC ユーザーズガイド ) を参照してください。

アイテム	インジケータ、ボタン、またはコネクタ	アイコン	説明
8	USB コネクタ		USB デバイスをシステムに接続するときに使用します。ポートは USB 2.0 対応です。
9	情報タグ		参照用のサービスタグ、NIC、MAC アドレスなどのシステム情報を含む、引き出し式のラベルパネルです。
10	ハードドライブ		ホットスワップ対応 3.5 インチハードドライブまたは SSD 4 台まで。

## 背面パネルの機能とインジケータ

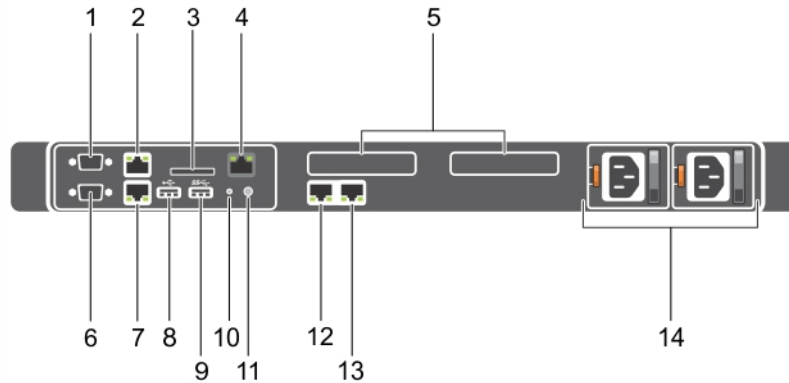



図 3. 背面パネルの機能とインジケータ

表 2. 背面パネルの機能とインジケータ

アイテム	インジケータ、ボタン、またはコネクタ	アイコン	説明
1	シリアルコネクタ		シリアルデバイスをシステムに接続するときに使用します。
2	イーサネットコネクタ 1		内蔵 10/100/1000 Mbps NIC コネクタ。
3	vFlash カードスロット (オプション)		vFlash カードを接続できます。
4	iDRAC ポート (オプション)		iDRAC ポートカード専用の管理ポート。
5	PCIe 拡張カードスロット (2)		PCI Express 拡張カードを接続できます。
6	ビデオコネクタ		VGA ディスプレイをシステムに接続するときに使用します。
7	イーサネットコネクタ 2		内蔵 10/100/1000 Mbps NIC コネクタ。
8	USB コネクタ		USB デバイスをシステムに接続できます。ポートは USB 2.0 対応です。
9	USB コネクタ		USB デバイスをシステムに接続できます。ポートは USB 3.0 対応です。
10	システム識別ボタン		前面パネルと背面パネルの識別ボタンは、ラック内の特定のシステムの位置を確認するために使用します。これらのボタンの 1 つを押すと、背面のシステムステータスインジケータは、ボタンの 1 つがもう一度押されるまで点滅を続けます。

アイテム	インジケータ、ボタン、またはコネクタ	アイコン	説明
			<p>ボタンを押してシステム識別のオン / オフを切り替えます。POST 中にシステムの反応が停止した場合は、システム識別ボタンを 5 秒以上押し続けて BIOS プログレスモードに入ります。</p> <p>iDRAC をリセットするには ( F2 iDRAC セットアップで無効に設定されていない場合 )、ボタンを 15 秒以上長押しします。</p>
11	システム識別コネクタ		オプションのケーブル管理アームを通して、オプションのシステムステータスインジケータアセンブリを接続します。
12	イーサネットコネクタ ( 3 )		10/100/1000 Mbps NIC コネクタ。
13	イーサネットコネクタ ( 4 )		
14	電源装置ユニット ( PSU1 と PSU2 )		<p><b>冗長電源装置</b> 550 W の冗長 AC 電源装置を 2 台まで。</p>




## 診断インジケータ



システムの診断インジケータは操作ステータスとエラーステータスを示します。

## 前面パネルの診断インジケータ

① **メモ:** システムの電源がオフのときは、どの診断インジケータも点灯しません。システムを起動するには、機能している電源に接続してから電源ボタンを押します。

表 3. 診断インジケータ

アイコン	説明	状態	対応処置
	ヘルスインジケータ	<p>システムが良好な状態である場合は、インジケータが青色に点灯します。</p> <p>次の場合はインジケータが橙色に点滅します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>システムがオンになっている場合。</li> <li>システムがスタンバイ状態になっている場合。</li> <li>エラー状態が存在する場合。例えば、ファン、PSU、またはハードドライブが故障しているなど。</li> </ul>	<p>不要。</p> <p>特定の問題については、システムイベントログまたはシステムメッセージを確認してください。エラーメッセージの詳細については、<a href="https://www.dell.com/support/manuals/openmanage">Dell.com/openmanagemanuals &gt; OpenManage software</a> の『<i>Dell Event and Error Messages Reference Guide</i>』( デルイベントおよびエラーメッセージリファレンスガイド ) を参照してください。</p> <p>メモリの構成が無効であることが原因で、POST プロセスがビデオ出力なしで中断されます。「困ったときは」の項を参照してください。</p>
	ハードドライブインジケータ	ハードドライブのエラーが発生している場合、インジケータは橙色に点滅します。	エラーが発生しているハードドライブを特定するには、システムイベントログをチェックしてください。適切なオンライン診断テストを実行します。システムを再起動し、組み込み型診断 ( ePSA ) を実行します。
	電気インジケータ	システムに電氣的なエラー(例えば、電圧の異常、電源装置ユニット ( PSU ) や電圧レギュレータの障害 )が発生している場合、インジケータは橙色に点滅します。	特定の問題については、システムイベントログまたはシステムメッセージを確認してください。PSU に問題がある場合は、PSU の LED をチェックして、PSU を取り付け直します。問題が解決しない場合は、「困ったときは」の項を参照してください。

アイコン	説明	状態	対応処置
	温度インジケータ	システムに温度に関するエラー（例えば、周囲温度が許容範囲を超えている、またはファンの故障）が発生している場合、インジケータは橙色に点滅します。	<p>次の状態が発生していないことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>冷却ファンが取り外されているか、故障している。</li> <li>システムカバー、冷却用エアフローカバー、EMI フィラーパネル、メモリモジュールのダミー、または背面フィルターブラケットが取り外されている。</li> <li>室温が高すぎる。</li> <li>外部の通気が遮断されている。</li> </ul> <p>「困ったときは」の項を参照してください。</p>
	メモリインジケータ	メモリエラーが発生すると、このインジケータが橙色に点滅します。	<p>障害が発生したメモリの位置については、システムイベントログまたはシステムメッセージをチェックしてください。メモリモジュールを取り付けなおします。問題が解決しない場合は、「困ったときは」の項を参照してください。</p>

### 関連するリンク

[困ったときは](#)

## ハードドライブインジケータコード

各ハードドライブキャリアには、アクティビティインジケータとステータスインジケータがあります。これらのインジケータは、ハードドライブの現在のステータスに関する情報を提供します。アクティビティ LED はハードドライブが使用中かどうかを示します。ステータス LED は、ハードドライブの電源状態を示します。

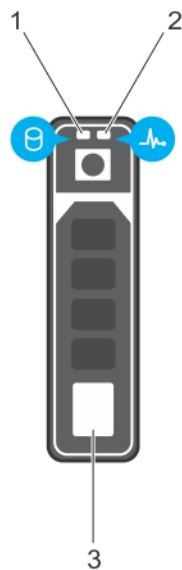


図 4. ハードドライブインジケータ

- |   |                      |   |                    |
|---|----------------------|---|--------------------|
| 1 | ハードドライブアクティビティインジケータ | 2 | ハードドライブステータスインジケータ |
| 3 | ハードドライブ              |   |                    |

① **メモ:** ハードドライブが Advanced Host Controller Interface ( AHCI ) モードの場合、ステータスインジケータ ( 右側 ) は点灯しません。



表記規則	ステータス	状態
C	リンクインジケータが橙	NIC が最大ポート速度未満で有効なネットワークに接続されています。
D	アクティビティインジケータが黄色に点滅	ネットワークデータの送信中または受信中です。

## 内部 SD モジュールのインジケータコード

内部 SD モジュール ( ISDM ) をストレージ用または OS 起動パーティションとして設定できます。ISDM カードには次の機能があります。

- シングルカードオペレーション — シングルカードオペレーションはサポートされますが、冗長性は提供されません。

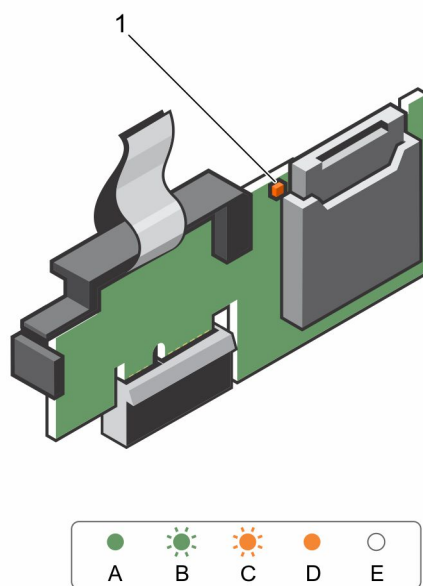


図 6. 内部 SD モジュール

1 LED ステータスインジケータ

次の表は、ISDM インジケータコードについて説明しています。

表 6. ISDM インジケータコード

表記規則	ISDM インジケータコード	説明
A	緑色	カードがオンラインであることを示します。
B	緑色の点滅	再構築またはアクティビティを示します。
C	橙色の点滅	カードの不一致またはカードに障害が発生したことを示します。
D	橙色	カードがオフライン、故障している、または書き込みが禁止されていることを示します。
E	消灯	カードが取り付けられていないか、起動していないことを示します。

# iDRAC ダイレクト LED インジケータコード

iDRAC ダイレクト LED インジケータが点灯して、ポートが接続され、iDRAC サブシステムの一部として使用されていることを示します。

① **メモ:** USB ポートが USB モードで使用されている場合、iDRAC ダイレクト LED インジケータは点灯しません。



図 7. iDRAC ダイレクト LED インジケータ

1 iDRAC ダイレクトステータスインジケータ

iDRAC ダイレクト LED インジケータ表は、管理ポート ( USB XML インポート ) を使用して iDRAC ダイレクトを設定しているときの iDRAC ダイレクトのアクティビティを説明しています。

表 7. iDRAC ダイレクト LED インジケータ

表記規則	iDRAC ダイレクト LED インジケータパターン	状態
A	緑色	ファイル転送の開始時と終了時を示すために最低 2 秒間緑色に点灯します。
B	緑色の点滅	ファイル転送や操作タスクを示します。
C	緑色に点灯して消灯	ファイル転送が完了したことを示します。
D	消灯	USB を取り外す準備ができたことを示しているか、タスクが完了したことを示しています。

次の表は、ノートブックとケーブル ( ノートブック接続 ) を使用して iDRAC ダイレクトを設定する時の iDRAC ダイレクトのアクティビティを説明しています。

表 8. iDRAC ダイレクト LED インジケータパターン

iDRAC ダイレクト LED インジケータパターン	状態
2 秒間緑に点灯	ノートブックが接続されていることを示します。
緑色の点滅 ( 2 秒間点灯し、2 秒間消灯 )	ノートブックの接続が認識されていることを示しています。
消灯	ノートブックが電源に接続されていないことを示します。

# 冗長電源ユニットのインジケータコード

各 AC 電源装置ユニット ( PSU ) には光る半透明のハンドルがあり、電力が供給されているかどうか、電源の障害が発生しているかどうかを示します。



図 8. AC PSU ステータスインジケータ

1 AC PSU ステータスインジケータまたはハンドル

表 9. 冗長 AC PSU ステータスインジケータ

表記規則	電源インジケータのバタ ーン	状態
A	緑色	有効な電源が PSU に接続されているか、PSU が動作中です。
B	緑色の点滅	PSU ファームウェアのアップデート中に、PSU ハンドルが緑色に点滅します。 <b>△ 注意:</b> ファームウェアをアップデートしている際に、電源コードを外したり PSU を抜いたりしないでください。ファームウェアのアップデートが中断した場合、PSU は機能しなくなります。Dell Lifecycle Controller を使用して PSU ファームウェアをロールバックする必要があります。Dell.com/idracmanuals にある『Dell Lifecycle Controller User's Guide』( Dell Lifecycle Controller ユーザーズガイド ) を参照してください。
C	緑色の点滅と消灯	PSU のホット追加時に、PSU のハンドルが 4 Hz の速度で 5 回緑色に点滅してから消灯します。これは、効率、機能設定、正常性状態、サポートする電圧に対する PSU の不整合が存在することを示します。 <b>△ 注意:</b> AC PSU の場合は、背面に拡張電源パフォーマンス ( EPP ) のラベルが貼付されている PSU のみを使用してください。 <b>① メモ:</b> 両方の PSU の容量が同じであることを確認してください。 <b>① メモ:</b> 旧世代の Dell PowerEdge サーバーからの PSU を混在させると、PSU の不一致状態が発生する、またはシステムへの電源投入に失敗する場合があります。
D	橙色の点滅	PSU に問題があることを表示します。

- △ **注意:** 電源ユニット ( PSU ) の不整合を修正する場合は、インジケータが点滅している PSU のみ交換してください。ペアを一致させるために他の PSU を交換すると、エラー状態および予期しないシステムシャットダウンの原因となる場合があります。高出力構成から低出力構成、またはその逆へ変更するには、システムの電源を切る必要があります。
- △ **注意:** AC PSU は、220 V のみをサポートする Titanium PSU を除き、220 V および 110 V 入力電圧の両方をサポートします。2 台の同じ PSU に異なる入力電圧が供給されると、異なるワット数が出力され、不整合を生じる場合があります。
- △ **注意:** 2 台の PSU を使用する場合は、両方のタイプと最大出力電力が同一である必要があります。
- △ **注意:** AC PSU と DC PSU との組み合わせはサポートされておらず、不整合の原因となります。

E 消灯 電源が接続されていません。

## お使いのシステムのサービスタグの位置

お使いのシステムは、一意のエキスプレスサービスコードおよびサービスタグ番号によって識別されます。エキスプレスサービスコードおよびサービスタグは、システム前面にある情報タグを引き出して確認します。または、システムのシャーシに貼られたシールにこの情報が記載されている場合があります。この情報は、電話によるサポートのお問い合わせを、適切な担当者に転送するために Dell EMC によって使用されます。

## 参照文書

Dell EMC のマニュアルの詳細については、お使いの製品に固有のサポートマトリックス ( [Dell.com/XCSeriesmanuals](https://Dell.com/XCSeriesmanuals) ) を参照してください。

Nutanix ソリューションソフトウェアの特定のリリースに対応する Nutanix マニュアルの詳細については、お使いの製品に固有のサポートマトリックス ( [Dell.com/XCSeriesmanuals](https://Dell.com/XCSeriesmanuals) ) を参照してください。

## 技術仕様

お使いのシステムの技術仕様および環境仕様の詳細については、[Dell.com/XCseriesmanuals](https://Dell.com/XCseriesmanuals) にあるサポートマトリックスを参照してください。

# システムの初期セットアップと設定

## システムのセットアップ

お使いのシステムをセットアップするには、次の手順を実行します。

- 1 XC430 Xpress の導入の詳細については、『*Dell EMC XC430 Xpress Hyper-Converged Deployment Guide*』（Dell EMC XC430 Xpress ハイパーコンバージド導入ガイド）を参照してください（[Dell.com/XCSeriesmanuals](https://www.dell.com/xcseriesmanuals) にあります）。
- 2 システムを開梱します。
- 3 周辺機器をシステムに接続します。
- 4 システムを電源コンセントに接続します。
- 5 電源ボタンを押すか iDRAC を使用して、システムの電源を入れます。

① | **メモ:** 初回起動スクリプトが完了するまで、電源プラグを抜いたり、システムの電源を切ったりしないでください。

- 6 接続されている周辺機器の電源を入れます。

## iDRAC 設定

Integrated Dell Remote Access Controller ( iDRAC ) は、システム管理者の生産性を向上させ、Dell EMC システムの全体的な可用性を高めるように設計されています。iDRAC は、システムの問題についての管理者へのアラート送信、リモートシステム管理の実施の支援、およびシステムへの物理的なアクセスの必要性の軽減を行います。

## iDRAC へのログイン

iDRAC には、次の資格でログインできます。

- iDRAC ユーザー
- Microsoft Active Directory ユーザー
- Lightweight Directory Access Protocol ( LDAP ) ユーザー

デフォルトのユーザー名とパスワードは、root と calvin です。シングルサインオンまたはスマートカードを使用してログインすることもできます。

① | **メモ:** iDRAC にログインするには、iDRAC 資格情報が必要です。

iDRAC へのログイン、および iDRAC ライセンスの詳細については、[Dell.com/idracmanuals](https://www.dell.com/idracmanuals) で最新の『Integrated Dell Remote Access Controller User's Guide』（Integrated Dell Remote Access Controller ユーザーズガイド）を参照してください。

## ファームウェアとドライバをダウンロードする方法

次の方法のいずれかを使用して、ファームウェアとドライバをダウンロードできます。

① | **メモ:** 最新のファームウェアとドライバのバージョンの詳細については、サポートマトリックス( [Dell.com/XCSeriesmanuals](https://www.dell.com/xcseriesmanuals) )を参照してください。

表 10. ファームウェアおよびドライバ

メソッド	場所
デルサポートサイトから	<a href="https://Dell.com/support/home">Dell.com/support/home</a>
Dell Remote Access Controller Lifecycle Controller ( iDRAC with LC ) を使用	<a href="https://Dell.com/idracmanuals">Dell.com/idracmanuals</a>
Dell Repository Manager ( DRM ) を使用	<a href="https://Dell.com/openmanagemanuals">Dell.com/openmanagemanuals</a>
Dell OpenManage Essentials ( OME ) を使用	<a href="https://Dell.com/openmanagemanuals">Dell.com/openmanagemanuals</a>
Dell Server Update Utility ( SUU ) を使用	<a href="https://Dell.com/openmanagemanuals">Dell.com/openmanagemanuals</a>
Dell OpenManage Deployment Toolkit ( DTK ) を使用	<a href="https://Dell.com/openmanagemanuals">Dell.com/openmanagemanuals</a>

## ドライバとファームウェアのダウンロード

Dell は、お使いのシステムに最新の BIOS、ドライバ、およびシステム管理ファームウェアをダウンロードし、インストールすることを推奨しています。

### 前提条件

ドライバとファームウェアをダウンロードする前に、ウェブブラウザのキャッシュをクリアするようにしてください。

### 手順

- 1 [Dell.com/support/drivers](https://Dell.com/support/drivers) にアクセスします。
- 2 **Drivers & Downloads** ( ドライバおよびダウンロード ) セクションで、**Service Tag or Express Service Code** ( サービスタグまたはエクスプレスサービスコード ) ボックスにお使いのシステムのサービスタグを入力し、**Submit** ( 送信 ) をクリックします。

① **メモ:** サービスタグがない場合は、**Detect My Product** ( 製品の検出 ) を選択してシステムにサービスタグを自動的に検出させるか、製品サポートでお使いの製品を選択します。

- 3 **Drivers & Downloads** ( ドライバおよびダウンロード ) をクリックします。  
ユーザーの選択した項目に該当するドライバが表示されます。
- 4 ドライバを USB ドライブ、CD、または DVD にダウンロードします。

## セットアップユーティリティ

- ① **メモ:** セットアップユーティリティのデフォルト設定を変更すると、アプライアンスが使用できなくなるおそれがあります。変更は、Dell EMC テクニカルサポートの指示に基づく場合にのみ行うことをお勧めします。

# システムコンポーネントの取り付けと取り外し

ハードディスクドライブ ( HDD )、ソリッドステートドライブ ( SSD )、電源装置などのハードウェアコンポーネントをアプライアンスに追加したり交換したりできます。このような作業は Dell EMC 認定サービス技術者のみが行う必要があります。特定のハードウェアコンポーネントの修理や交換については、カスタマーサポートへの問い合わせが必要となる場合があります。

トピック：

- 安全にお使いいただくために
- システム内部の作業を始める前に
- システム内部の作業を終えた後に
- 推奨ツール
- 前面ベゼル ( オプション )
- システムカバー
- システムの内部
- 冷却エアフローカバー
- システムメモリ
- SATA/DOM
- ハードドライブ
- 冷却ファン
- 拡張カードと拡張カードライザー
- iDRAC ポートカード
- 内部 SD モジュール
- 電源装置ユニット
- システムバッテリー

## 安全にお使いいただくために

- ⚠ **警告:** システムを持ち上げる必要のある場合は、必ず 2 人以上で行ってください。けがを防ぐために、決してシステムを 1 人で持ち上げようとしなないでください。
- ⚠ **警告:** システムの電源が入っている状態でシステムカバーを開いたり取り外したりすると、感電するおそれがあります。
- ⚠ **注意:** システムは、カバー無しで 5 分以上動作させないでください。
- ⚠ **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者しか実行できません。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。Dell EMC が認めていない修理 ( 内部作業 ) による損傷は、保証の対象となりません。お使いの製品に同梱の「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。
- ① **メモ:** Dell EMC は、システム内部のコンポーネントでの作業中は常に静電マットと静電ストラップを使用することをお勧めします。
- ① **メモ:** このアプライアンスは、特定のハードウェア構成で検証されています。Dell EMC が認定した Xpress 専用コンポーネント以外は使用しないでください。

# システム内部の作業を始める前に

## 前提条件

「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。

## 手順

- 1 システムとすべての周辺機器の電源を切ります。
- 2 システムを電源コンセントと周辺機器から外します。
- 3 前面ベゼルが取り付けられている場合は、取り外します。
- 4 必要に応じて、システムをラックから取り外します。  
詳細については、[Dell.com/poweredgemanuals](https://Dell.com/poweredgemanuals) のラック取り付けブレースマットを参照してください。
- 5 システムのカバーを外します。

## 関連するリンク

[安全にお使いいただくために](#)  
[オプションの前面ベゼルの取り外し](#)  
[システムカバーの取り外し](#)

# システム内部の作業を終えた後に

## 前提条件

「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。

## 手順

- 1 システムカバーを取り付けます。
- 2 必要に応じて、システムをラックに取り付けます。  
詳細については、[Dell.com/poweredgemanuals](https://Dell.com/poweredgemanuals) のラック取り付けブレースマットを参照してください。
- 3 前面ベゼルを取り外した場合は、取り付けます。
- 4 周辺機器を再度接続し、システムをコンセントに接続します。
- 5 システムとすべての周辺機器の電源を入れます。

## 関連するリンク

[安全にお使いいただくために](#)  
[オプションの前面ベゼルの取り付け](#)  
[システムカバーの取り付け](#)

# 推奨ツール

取り外しと取り付け手順を実行するには、以下のツールが必要になります。

- ベゼルロックのキー。  
キーは、お使いのシステムにベゼルが含まれている場合にのみ必要となります。
- #1 プラスドライバ
- #2 プラスドライバ
- プラスチックスクライバ
- 静電気防止用リストバンド

# 前面ベゼル ( オプション )

前面ベゼルはシステムの前面に取り付けてあり、ハードドライブの取り外し中、またはリセットボタンや電源ボタンを押したときの事故を防止します。前面ベゼルは、セキュリティ強化のためにロックすることもできます。

## オプションの前面ベゼルの取り外し

### 前提条件

「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。

### 手順

- 1 ベゼルキーの位置を確認して取り外します。  
**① | メモ:** ベゼルキーはベゼルの背面に取り付けられています。
- 2 キーを使ってベゼルのロックを解除します。
- 3 リリースラッチを上へスライドさせて、ベゼルの左端を引きます。
- 4 右端のフックを外し、ベゼルを取り外します。

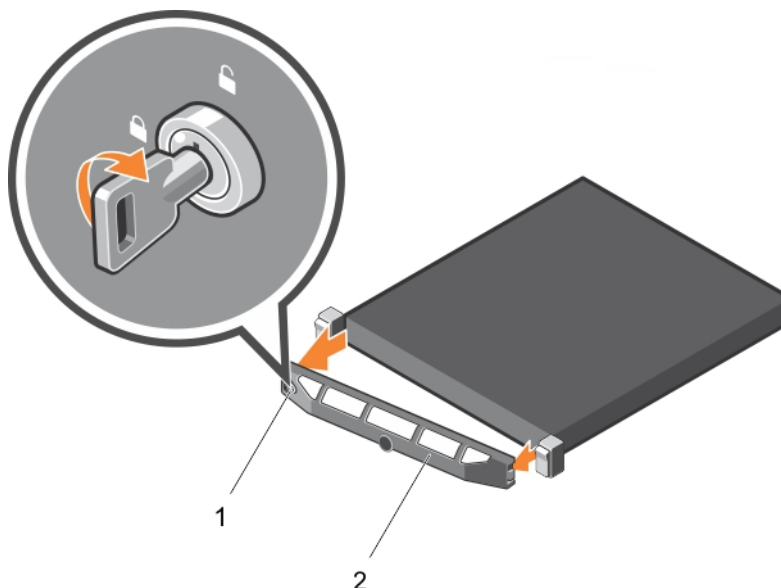


図 9. オプションの前面ベゼルの取り外し

1 ベゼルロック

2 前面ベゼル

## オプションの前面ベゼルの取り付け

### 前提条件

「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。

### 手順

- 1 ベゼルキーの位置を確認して取り外します。  
**① | メモ:** ベゼルキーはベゼルの背面に取り付けられています。
- 2 ベゼルの右端をシャーシに取り付けます。
- 3 ベゼルのもう一方の端をシステムにはめ込みます。
- 4 キーを使用してベゼルのロックをします。

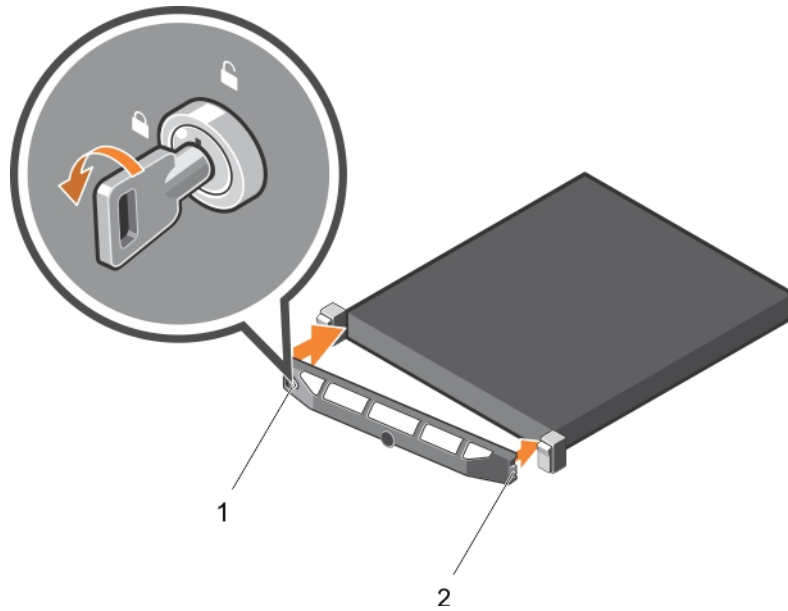


図 10. オプションの前面ベゼルの取り付け

1 ベゼルロック

2 前面ベゼル

## システムカバー

システムカバーはシステム内部のコンポーネントを保護すると共に、システム内の通気を維持するのに役立ちます。システムカバーを取り外すと、インテル® ジョンスイッチが作動します。

## システムカバーの取り外し

### 前提条件

- 1 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 2 システムとすべての周辺機器の電源を切ります。
- 3 システムを電源コンセントと周辺機器から外します。
- 4 オプションのベゼルが取り付けられている場合は、取り外します。

### 手順

- 1 ラッチリリースロックを反時計方向に回してロック解除位置にします。
- 2 ラッチをシステム後方に向けて持ち上げます。  
システムカバーを後方にスライドさせると、システムカバーのタブがシャーシのスロットから外れます。

① | **メモ:** ラッチの位置は、お使いのシステムの設定によって異なる場合があります。

- 3 カバーの両側をつかんで持ち上げて、システムから取り外します。

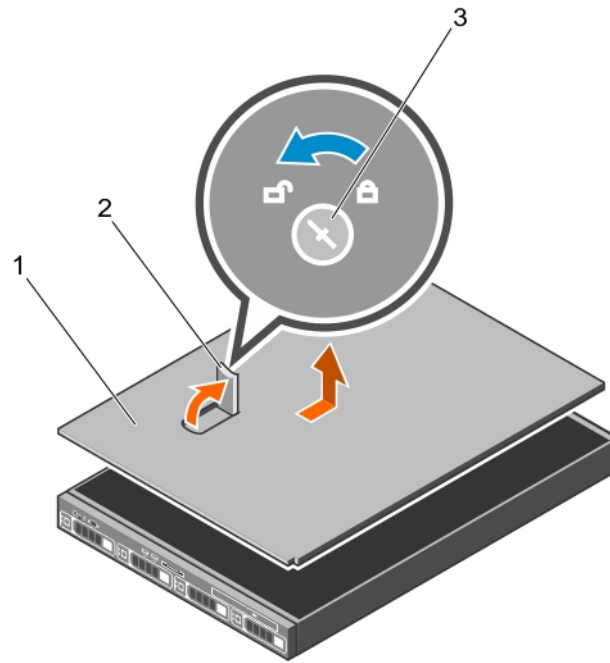


図 11. システムカバーの取り外し

- |   |            |   |     |
|---|------------|---|-----|
| 1 | システムカバー    | 2 | ラッチ |
| 3 | ラッチリリースロック |   |     |

#### 次の手順

- 1 システムカバーを取り付けます。

#### 関連するリンク

[安全にお使いいただくために](#)  
[オプションの前面ベゼルの取り外し](#)  
[システムカバーの取り付け](#)

## システムカバーの取り付け

#### 前提条件

- 1 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 2 「システム内部の作業を始める前に」の項に記載された手順に従います。
- 3 すべての内部ケーブルが接続され、邪魔にならないように束ねられており、システム内部に工具や余分な部品が残っていないことを確認します。

#### 手順

- 1 システムカバーのスロットをシャーシのタブに合わせます。
- 2 システムカバーのラッチを押し下げます。  
 システムカバーを前方にスライドさせると、システムカバーのスロットがシャーシのタブにはめ込まれます。システムカバーがシャーシのタブに完全にはめ込まれると、システムカバーラッチが所定の位置にロックされます。
- 3 ラッチリリースロックを時計方向に回してロック位置にします。

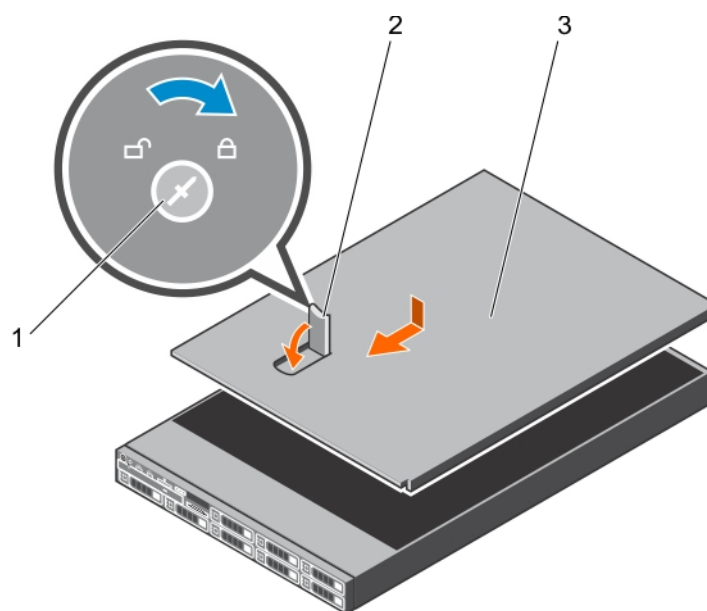


図 12. システムカバーの取り付け

- 1 ラッチリリースロック
- 3 システムカバー

2 ラッチ

#### 次の手順

- 1 前面ベゼルを取り外した場合は、取り付けます。
- 2 周辺機器を再度接続し、システムをコンセントに接続します。
- 3 システムとすべての周辺機器の電源を入れます。
- 4 「システム内部の作業を終えた後に」の項に記載された手順に従います。

#### 関連するリンク

[安全にお使いいただくために](#)  
[システム内部の作業を始める前に](#)  
[オプションの前面ベゼルの取り付け](#)

# システムの内部

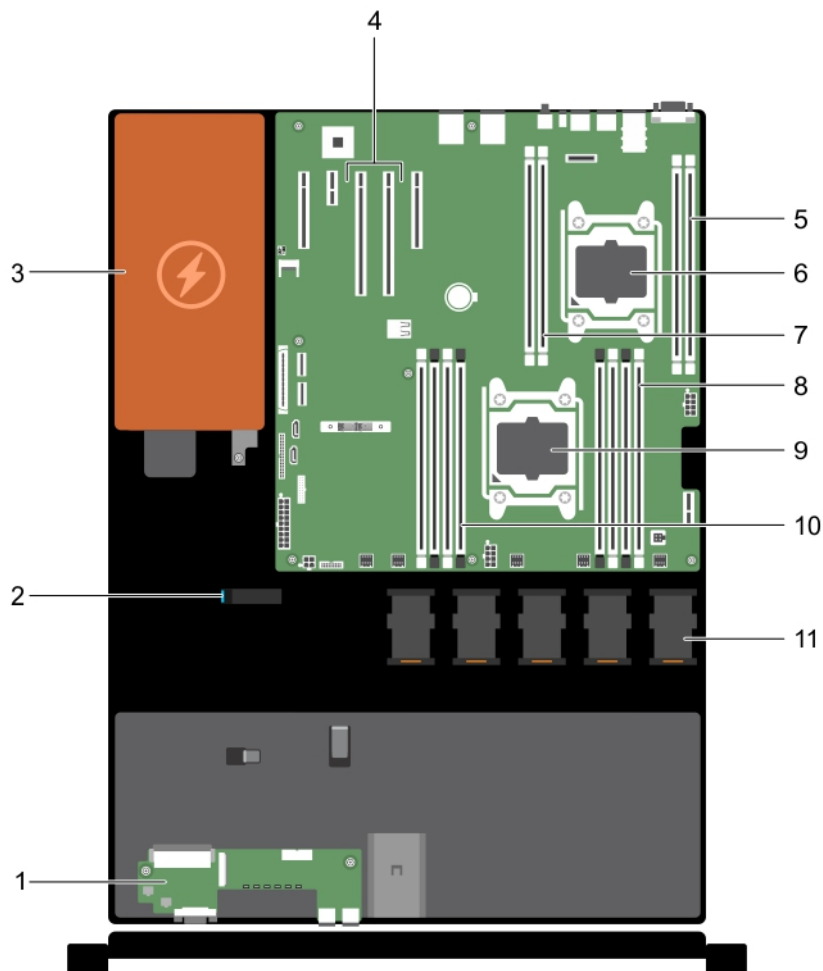


図 13. システムの内部

- |    |                        |    |                              |
|----|------------------------|----|------------------------------|
| 1  | コントロールパネル              | 2  | ケーブル配線ラッチ                    |
| 3  | 電源装置ユニット               | 4  | 拡張カードライザーコネクタ ( 2 )          |
| 5  | メモリモジュールソケット ( B3、B4 ) | 6  | プロセッサ 2                      |
| 7  | メモリモジュールソケット ( B1、B2 ) | 8  | メモリモジュールソケット ( A1、A5、A2、A6 ) |
| 9  | プロセッサ 1                | 10 | メモリモジュールソケット ( A3、A7、A4、A8 ) |
| 11 | 冷却ファン ( 5 )            |    |                              |

## 冷却エアフローカバー

冷却エアフローカバーは、システム全体にわたって空気力学的に空気の流れを導きます。空気の流れは、システムのすべての重要なパーツを通過します。減圧により、ヒートシンクの表面領域全体で空気が引き込まれ、冷却効果が向上します。

# 冷却エアフローカバーの取り外し

## 前提条件

- 1 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 2 「システム内部の作業を始める前に」の項に記載された手順に従います。
- 3 フルレンジ PCIe カードが取り付けられている場合は、取り外します。

## 手順

タッチポイントを持ち、冷却エアフローカバーを持ち上げてシステムから取り外します。

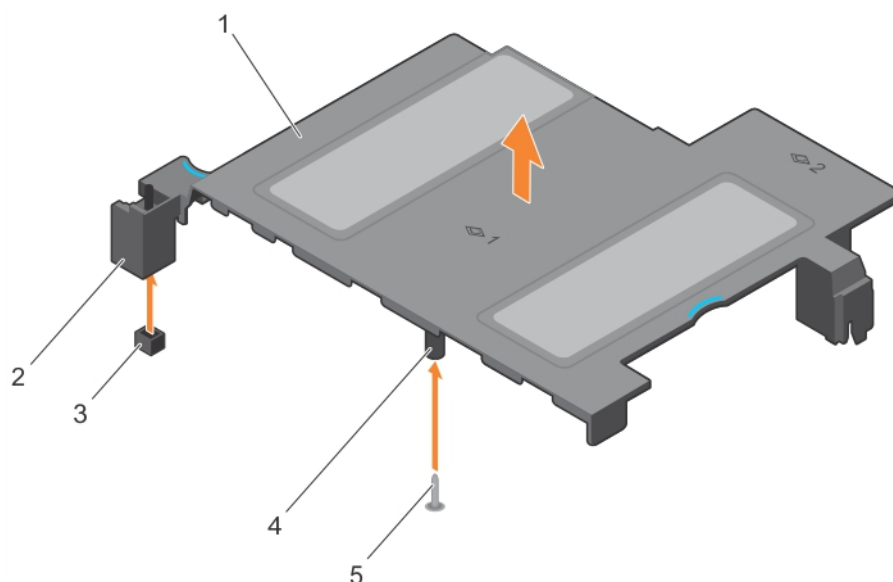


図 14. 冷却エアフローカバーの取り外し

- |                          |                  |
|--------------------------|------------------|
| 1 冷却エアフローカバー             | 2 インタージョンスイッチ    |
| 3 システム基板のインタージョンスイッチコネクタ | 4 冷却エアフローカバーのガイド |
| 5 ガイドピン                  |                  |

## 次の手順

- 1 冷却エアフローカバーを取り付けます。
- 2 必要な場合は、フルレンジ PCIe カードを取り付けます。
- 3 「システム内部の作業を終えた後に」の項に記載された手順に従います。

## 関連するリンク

[安全にお使いいただくために](#)  
[システム内部の作業を始める前に](#)  
[システム内部の作業を終えた後に](#)

# 冷却エアフローカバーの取り付け

## 前提条件

- 1 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 2 「システム内部の作業を始める前に」の項に記載された手順に従います。
- 3 該当する場合は、シャーシ側面に沿ってシステム内部にケーブルを配線し、ケーブル保持ブラケットを使ってケーブルを固定します。

## 手順

- 1 冷却エアフローカバーのタブをシャーシの固定スロットに合わせます。
  - a 冷却エアフローカバーをシステム基板上のガイドピンに合わせます。
  - b インテル・ジョンスイッチをシステム基板のインテル・ジョンスイッチコネクタに合わせます。
- 2 しっかりと装着されるまで、冷却エアフローカバーをシャーシに押し下げます。  
しっかりと装着されると、冷却エアフローカバーに刻印されているメモリソケット番号がそれぞれのメモリソケットと揃います。

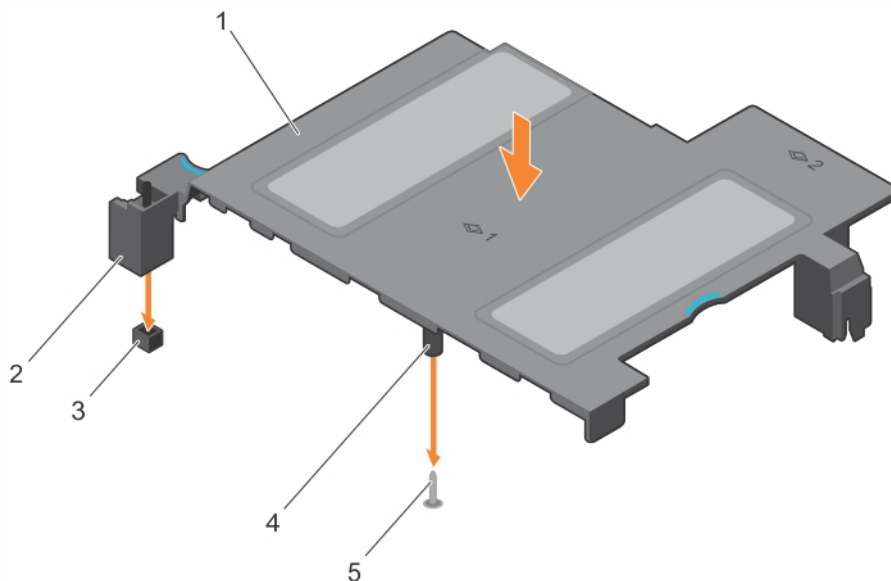


図 15. 冷却エアフローカバーの取り付け

- |                           |                  |
|---------------------------|------------------|
| 1 冷却エアフローカバー              | 2 インテル・ジョンスイッチ   |
| 3 システム基板のインテル・ジョンスイッチコネクタ | 4 冷却エアフローカバーのガイド |
| 5 ガイドピン                   |                  |

## 次の手順

- 1 「システム内部の作業を終えた後に」の項に記載された手順に従います。

## 関連するリンク

[安全にお使いいただくために](#)  
[システム内部の作業を始める前に](#)  
[システム内部の作業を終えた後に](#)

# システムメモリ

お使いのシステムは、DDR4 レジスタ DIMM ( RDIMM ) をサポートしています。

① **メモ:** MT/s は DIMM の速度単位で、MegaTransfers/ 秒の略語です。

メモリスの動作周波数は 2400 MT/s で、以下の要因に応じて異なります。

- 選択されているシステムプロファイル (たとえば、Performance Optimized (パフォーマンス重視の構成)、Custom (カスタム)、または Dense Configuration Optimized (高密度設定最適化))
- プロセッサでサポートされている DIMM の最大周波数

システムには 4 つのセットに分けられる 12 のメモリソケット (4 ソケットのセットを 2 つ、2 ソケットのセットを 2 つ) があります。4 ソケットの各セットは 2 つのチャンネルで、2 ソケットの各セットは 1 つのチャンネルで構成されています。4 つのソケットセットの各チャンネルの最初のソケットのリリースレバーは白、2 番目のソケットのレバーは黒になります。2 ソケットセットでは各リリースレバーは白になります。

① **メモ:** ソケット A1 ~ A8 の DIMM はプロセッサ 1 に、ソケット B1 ~ B4 の DIMM はプロセッサ 2 に割り当てられています。

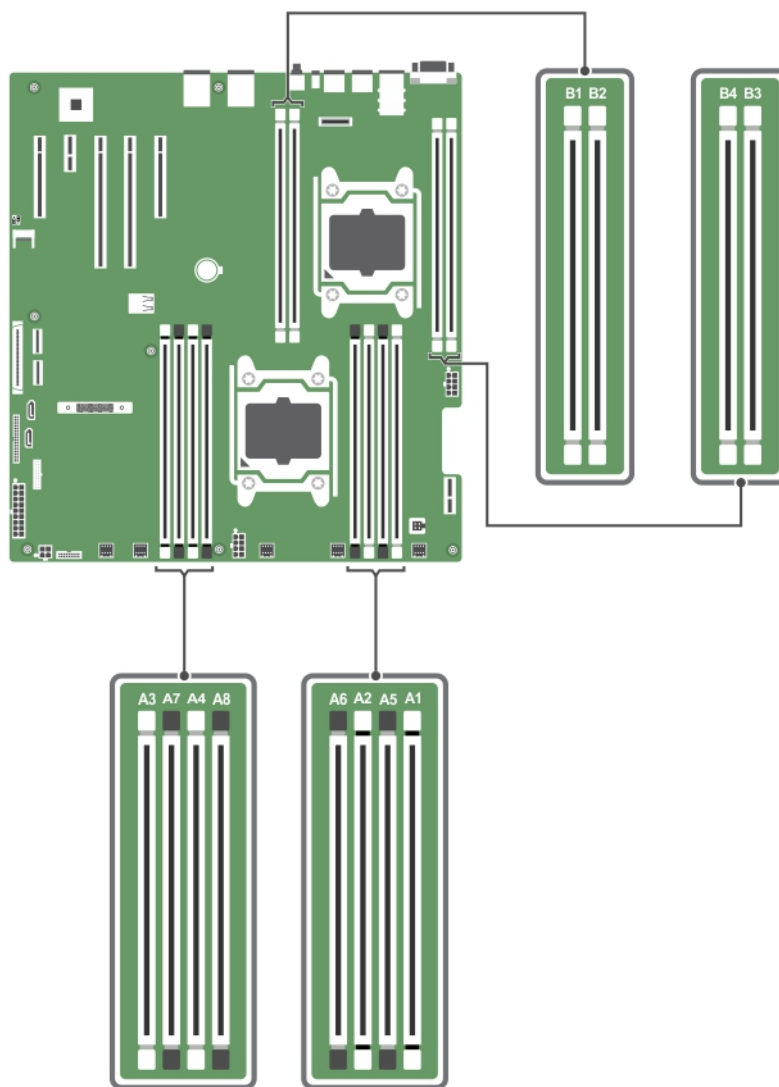


図 16. システムメモリ

メモリチャンネルの構成は次のとおりです。

**プロセッサ 1**

チャンネル 0 : メモリソケット A1 と A5

チャンネル 1 : メモリソケット A2 と A6

チャンネル 2 : メモリソケット A3 と A7

チャンネル 3 : メモリソケット A4 と A8

**プロセッサ 2**

チャンネル 0 : メモリソケット B1

チャンネル 1 : メモリソケット B2

チャンネル 2 : メモリソケット B3

チャンネル 3 : メモリソケット B4

次の表は、サポートされている構成のメモリ装着と動作周波数を示したものです。

**表 11. サポートされる構成**

DIMM のタイプ	装着 DIMM/ チャンネル	動作周波数 ( 単位 : MT/s )	最大 DIMM ランク / チャンネル	電圧
RDIMM	1	2400	デュアルランクまたはシングルランク	1.2 V
	2			

## メモリモジュール取り付けガイドライン

このシステムはフレキシブルメモリ構成をサポートしているため、あらゆる有効なチップセットアーキテクチャ構成でシステムを構成し、使用することができます。メモリモジュールの取り付け推奨ガイドラインは次のとおりです。

- x4 および x8 DRAM ベースの DIMM は組み合わせで使用できます。詳細に関しては、「モードごとのガイドライン」の項を参照してください。
- 最高 2 つのデュアルまたはシングルランク RDIMM をチャンネルごとに装着できます。
- 速度の異なるメモリモジュールを取り付けた場合は、取り付けられているメモリモジュールのうちで最も遅いものの速度で動作します。または、システムの DIMM 構成によってはさらに遅い動作になります。
- プロセッサが取り付けられている場合に限り、DIMM ソケットに DIMM を装着してください。シングルプロセッサシステムの場合は、ソケット A1 ~ A8 が使用できます。デュアルプロセッサシステムの場合は、ソケット A1 ~ A8 と B1 ~ B4 が使用できます。
- 最初に、白のリリースレバーが付いているすべてのソケットに、次に黒いリリースレバーが付いているすべてのソケットに装着します。
- 容量の異なるメモリモジュールを併用する際は、最大容量を持つメモリモジュールをソケットに装着します。たとえば、4 GB と 8 GB の DIMM を併用する場合は、白色のリリースレバーが付いているソケットに 8 GB の DIMM を装着し、黒色のリリースレバーが付いているソケットに 4 GB の DIMM を装着します。
- デュアルプロセッサ構成では、最初の 8 つのスロットについて、各プロセッサのメモリ構成を同一にしてください。たとえば、プロセッサ 1 のソケット A1 に DIMM を装着した場合、プロセッサ 2 はソケット B1 に ( ...以下同様 ) DIMM を装着する必要があります。
- 他のメモリ装着ルールが守られていれば、異なる容量のメモリモジュールを併用できます ( たとえば、4 GB と 8 GB のメモリモジュールを併用できます )。
- システム内で 2 つ以上の DIMM を併用することはできません。
- パフォーマンスを最大にするには、各プロセッサにつき 2 枚の DIMM を一度に装着してください ( 各チャンネルに DIMM 1 枚 )。

# モードごとのガイドライン

各プロセッサに4つのメモリチャンネルが割り当てられます。使用可能な構成は、選択するメモリモードによって異なります。

- ① **メモ:** x4 と x8 DRAM ベースの DIMM が併用でき、RAS 特性がサポートされます。ただし、特定の RAS 特性に関するすべてのガイドラインに準拠している必要があります。x4 DRAM ベースの DIMM は、メモリ最適化（独立チャンネル）モードで SDDC（Single Device Data Correction）を維持します。x8 DRAM ベースの DIMM が SDDC を獲得するには、アドバンス ECC モードを必要とします。

次の項では、各モードの詳しいメモリ装着ガイドラインを説明します。

## メモリ最適化（独立チャンネル）モード

このモードでは、使用するデバイス幅が x4 のメモリモジュールについてのみ Single Device Data Correction（SDDC）がサポートされます。スロット装着に関する特定の要件はありません。

## メモリモジュールの取り外し

### 前提条件

- 1 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 2 「システム内部の作業を始める前に」の項に記載された手順に従います。
- 3 冷却シュラウドを取り外します。

**△ 警告:** メモリモジュールは、システムの電源を切った後もしばらくは触れられないほど高温です。メモリモジュールの冷却を待ってから作業してください。メモリモジュールはカードの両端を持ち、メモリモジュールのコンポーネントや金属の接触部には指を触れないでください。

**△ 注意:** システムの適切な冷却状態を維持するため、メモリモジュールを取り付けないメモリソケットには、メモリモジュールダミーを取り付ける必要があります。メモリモジュールダミーは、それらのソケットにメモリモジュールを取り付ける予定の場合にのみ取り外すようにしてください。

### 手順

- 1 該当するメモリモジュールソケットの位置を確認します。
- 2 メモリモジュールをソケットから解除するには、メモリモジュールソケットの両端にあるイジェクタを同時に押します。

**△ 注意:** 各モジュールは、カードの端だけを持ち、メモリモジュールの中央部や金属の接触部に触れないように取り扱ってください。

- 3 メモリモジュールを持ち上げて、シャーシから取り外します。

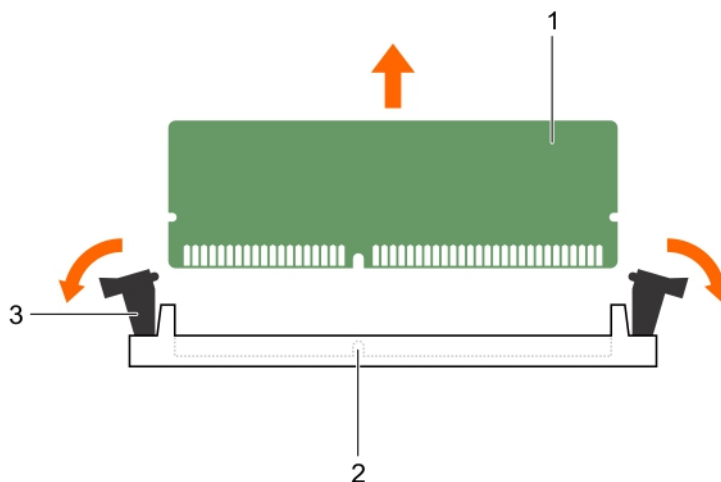


図 17. メモリモジュールの取り外し

- |   |                   |   |              |
|---|-------------------|---|--------------|
| 1 | メモリモジュール          | 2 | メモリモジュールソケット |
| 3 | メモリモジュールイジェクタ (2) |   |              |

#### 次の手順

- 1 メモリモジュールを取り付けます。
- 2 メモリモジュールを取り外したままにする場合は、メモリモジュールダミーを取り付けます。  
i **メモ:** メモリモジュールダミーの取り付け手順は、メモリモジュールの取り付け手順と同様です。
- 3 冷却エアフローカバーを取り付けます。

#### 関連するリンク

安全にお使いいただくために  
 システム内部の作業を始める前に

## メモリモジュールの取り付け

#### 前提条件

- 1 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 2 「システム内部の作業を始める前に」の項に記載された手順に従います。
- 3 冷却シュラウドを取り外します。

⚠ **警告:** メモリモジュールは、システムの電源を切った後もしばらくは触れられないほど高温です。メモリモジュールの冷却を待ってから作業してください。メモリモジュールはカードの両端を持ち、メモリモジュールのコンポーネントや金属の接触部には指を触れないでください。

⚠ **注意:** システムの適切な冷却状態を維持するため、メモリモジュールを取り付けないメモリスロットには、メモリモジュールダミーを取り付ける必要があります。メモリモジュールダミーは、それらのソケットにメモリモジュールを取り付ける予定の場合にのみ取り外すようにしてください。

#### 手順

- 1 該当するメモリモジュールソケットの位置を確認します。

⚠ **注意:** 各モジュールは、カードの端だけを持ち、メモリモジュールの中央部や金属の接触部に触れないように取り扱ってください。

△ **注意:** 取り付け中のメモリモジュール、またはメモリモジュールソケットへの損傷を防ぐため、メモリモジュールを折ったり曲げたりしないでください。メモリモジュールの両端は同時に挿入してください。

2 ソケットにメモリモジュールまたはメモリモジュールダミーが取り付けられている場合は、それを取り外します。

① **メモ:** メモリモジュールダミーの取り外し手順は、メモリモジュールの取り外し手順に似ています。

① **メモ:** 取り外したメモリモジュールダミーは、今後の使用のため保管しておきます。

3 メモリモジュールのエッジコネクタをメモリモジュールソケットの位置合わせキーに合わせ、メモリモジュールをソケット内に挿入します。

① **メモ:** メモリモジュールソケットには位置合わせキーがあり、メモリモジュールをソケットに一方方向でしか取り付けられないようになっています。

△ **注意:** メモリモジュールの中央にかけないようにしてください。メモリモジュールの両端に均等に力を加えてください。

4 ソケットレバーが所定の位置にしっかりと収まるまで、メモリモジュールを親指で押し込みます。

メモリモジュールがソケットに適切に装着されると、メモリモジュールソケットのレバーがメモリモジュールが装着されている別のソケットのレバーと同じ位置に揃います。

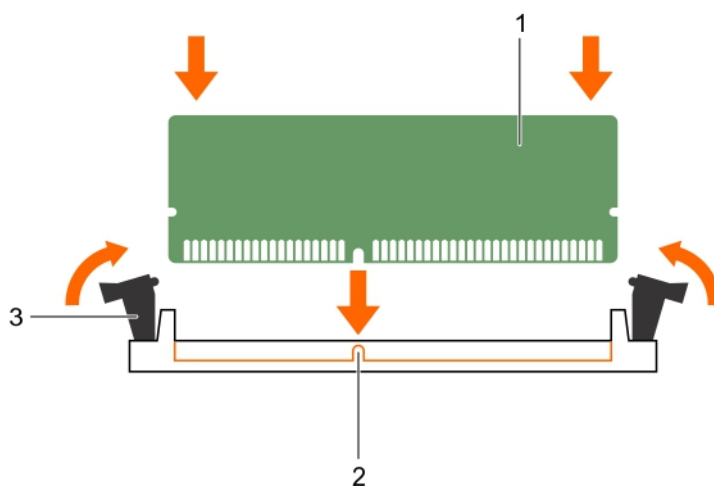


図 18. メモリモジュールの取り付け

1 メモリモジュール

2 位置合わせキー

3 メモリモジュールソケットのイジェクタ (2)

#### 次の手順

1 冷却エアフローカバーを取り付けます。

2 「システム内部の作業を終えた後に」の項に記載された手順に従います。

3 セットアップユーティリティに入るために、F2 を押し、**System Memory (システムメモリ)** 設定をチェックします。

**システムメモリサイズ**は、取り付けたメモリを示します。

4 **システムメモリサイズ**が正しくない場合、1 枚または複数のメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールがソケットにしっかりと装着されていることを確認します。

5 システム診断プログラムでシステムメモリのテストを実行します。

## 関連するリンク

安全にお使いいただくために  
システム内部の作業を始める前に  
冷却エアフローカバーの取り外し  
冷却エアフローカバーの取り付け  
システム内部の作業を終えた後に

# SATADOM

SATADOM は、標準 SATA データ接続が内蔵された disk-on-module ( DOM ) フォームファクタです。デフォルトで、SATADOM には電源ケーブルが取り付けられており、読み取り / 書き込み位置に設定されています。

SATADOM は オンボード SATA コントローラを使用するため、追加のコントローラを必要としません。

Nutanix では、データドライブとは個別のコントローラ上に起動デバイスがあるため、システムのディスクパフォーマンスが向上します。

## SATADOM についての重要な情報

アプライアンスに同梱の SATA Disk-On-Motherboard ( SATADOM ) は、アプライアンスの起動デバイスとして使用するためのものです。

① **メモ:** アプライアンスによって使用される書き込み集中型のアクティビティとプロセスは、起動デバイスではなく、SSD および HDD 上で実行することを意図しています。仮想マシンを SATADOM 上で実行すると、高可用性を得られず、ローカルの起動ドライブが満杯になり、ホストハイパーバイザーがクラッシュする原因になります。これによって、SATADOM の摩耗が進みます。

ハイパーバイザーの起動デバイスは、アプリケーションでの使用を意図していません。

⚠ **警告:** 書き込み集中型のソフトウェアをさらに SATADOM に起動ディスクに追加すると、設計された仕様以上にデバイスが摩耗し、その結果として早期にハードウェア障害が発生します。

## 書き込み集中型アプリケーションの例

以下は、書き込み集中型アプリケーションの例です。

- Hyper-V System Center エージェント
  - System Center Configuration Manager ( CCExec.exe )
  - System Center Operations Manager ( MonitoringHost.exe )
- 書き込み集中型エージェント
- データベース
- ディスク管理ユーティリティ ( サードパーティのディスクデフラグまたはパーティションツール )
- アプライアンスでの使用目的外の追加ロール ( Web サーバー、ドメインコントローラ、リモートデスクトップサービス など )
- クライアントベースのアンチウイルス
- SATADOM での仮想マシンの直接実行。仮想マシンは、ソリッドステートドライブ ( SSD ) およびハードディスクドライブ ( HDD ) 上で実行してください。

## SATADOM の取り外し

### 前提条件

- 1 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 2 「システム内部の作業を始める前に」の項に記載された手順に従います。

## 手順

- 1 テープバックアップ装置 ( TBU ) の電源コネクタから、電源ケーブルを外します。
- 2 SATADOM のロックリリースを押し、SATADOM を引き上げてシステムから取り外します。

① **メモ:** SATADOM を取り外したら、再利用、返品、または一時的な保管のために静電気防止パッケージに入れておきます。

① **メモ:** Dell EMC は、SATADOM の読み取り/書き込みのデフォルト設定は変更しないことをお勧めします。

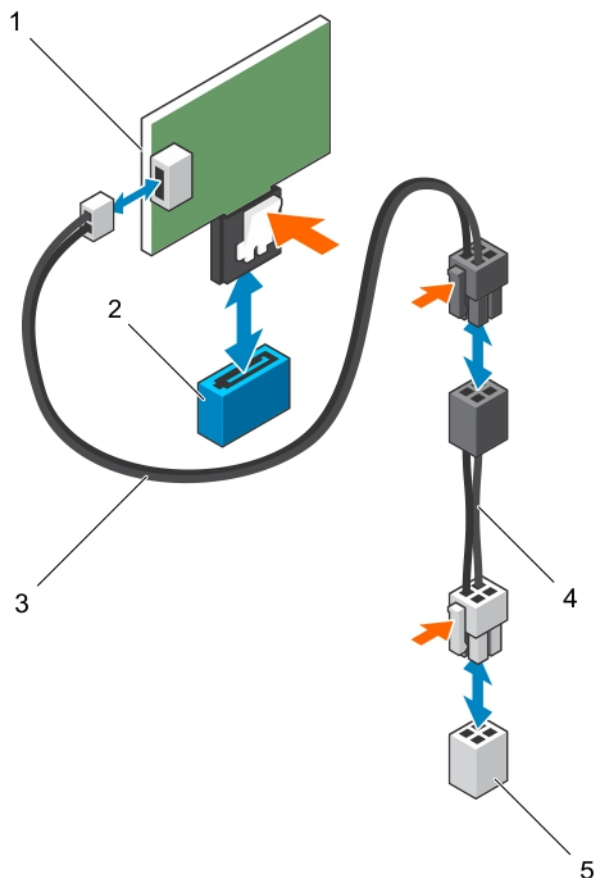


図 19. SATADOM の取り外しと取り付け

- |                      |          |
|----------------------|----------|
| 1 SATADOM            | 2 SATA   |
| 3 電源ケーブル             | 4 電源アダプタ |
| 5 SATADOM TBU 電源コネクタ |          |

## 次の手順

「システム内部の作業を終えた後に」の項に記載された手順に従います。

## 関連するリンク

[安全にお使いいただくために](#)  
[システム内部の作業を始める前に](#)  
[システム内部の作業を終えた後に](#)

# SATADOM の取り付け

## 前提条件

- 1 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 2 「システム内部の作業を始める前に」の項に記載された手順に従います。
- 3 SATADOM を取り付けの前に、冷却エアフローカバーを取り外します。

① **メモ:** Dell EMC は、SATADOM の読み取り/書き込みのデフォルト設定は変更しないことをお勧めします。

## 手順

- 1 SATADOM のロックリリースを押し、システム基板にある優先 SATADOM コネクタに SATADOM を差し込みます。

① **メモ:** 優先 SATADOM コネクタは SATA9 であり、青色で示されています。黒色で示された SATA8 コネクタを使用することもできます。

- 2 システム基板の SATADOM TBU 電源コネクタに電源ケーブルを接続します。

## 次の手順

「システム内部の作業を終えた後に」の項に記載された手順に従います。

## 関連するリンク

[安全にお使いいただくために](#)  
[システム内部の作業を始める前に](#)  
[システム内部の作業を終えた後に](#)

# ハードドライブ

お使いのシステムでは、以下の設定がサポートされています。

**ハードドライブ 4 台** 2.5 インチ SATA SSD ( 1 台 )、ホットスワップ対応 3.5 インチ SAS HDD、SATA HDD ( 3 台まで )

## 搭載のシステム

ホットスワップ対応ハードドライブは、ハードドライブバックプレーンを経由してシステム基板に接続します。ホットスワップ対応ハードドライブは、ハードドライブスロットにぴったり収まるホットスワップ対応ハードドライブキャリアに装着して提供されます。

△ **注意:** システムの動作中にホットスワップ対応ドライブを取り付けたり取り外したりする前に、ストレージコントローラカードのマニュアルを参照して、ホットスワップ対応ハードドライブの取り外しと挿入をサポートするように、ホストアダプタが正しく設定されていることを確認します。

△ **注意:** ハードドライブのフォーマット中は、システムの電源を切ったり、再起動を行ったりしないでください。ハードドライブの故障の原因となります。

① **メモ:** ハードドライブバックプレーン用として使用が認められているテスト済みのハードドライブのみを使用してください。

ハードドライブをフォーマットする場合は、フォーマットの完了までに十分な時間の余裕をみておいてください。大容量のハードドライブはフォーマットに数時間を要する場合があります。

# ホットスワップ対応ハードドライブキャリアの取り外し

## 前提条件

- 1 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 2 前面ベゼルが取り付けられている場合は、取り外します。
- 3 管理ソフトウェアを使用して、ハードディスクドライブを取り外す準備をします。詳細については、ストレージコントローラのマニュアルを参照してください。

ハードドライブがオンラインの場合、ハードドライブの電源をオフにすると、緑色のアクティビティ / 障害インジケータが点滅します。ハードドライブインジケータが消灯したら、ハードドライブを取り外すことができます。

**△ 注意:** データの損失を防ぐために、お使いのオペレーティングシステムがホットスワップによるドライブの取り付けに対応していることを確認してください。お使いの OS のマニュアルを参照してください。

**① メモ:** ホットスワップ対応ハードドライブは、ハードドライブスロットに収まるホットスワップ対応ハードドライブキャリアに装着されて提供されません。

#### 手順

- 1 リリースボタンを押してハードドライブキャリアリリースハンドルを開きます。
- 2 ハードドライブキャリアをスライドさせてハードドライブスロットから取り出します。

**△ 注意:** システムの正常な冷却状態を維持するため、空のハードドライブスロットすべてにハードドライブキャリアのダミーを取り付ける必要があります。

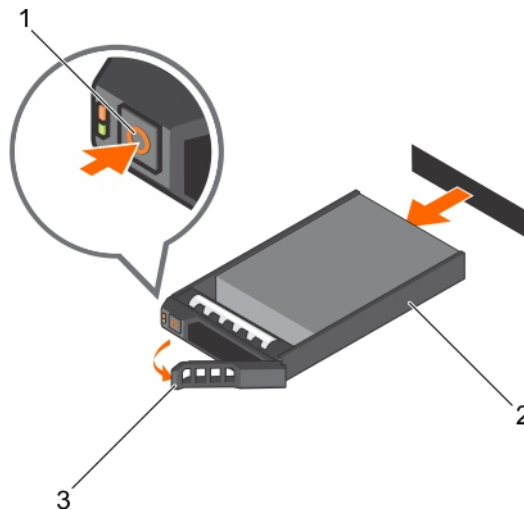


図 20. ホットスワップ対応ハードドライブまたは SSD の取り外し

- |   |                 |   |             |
|---|-----------------|---|-------------|
| 1 | リリースボタン         | 2 | ハードドライブキャリア |
| 3 | ハードドライブキャリアハンドル |   |             |

#### 次の手順

- 1 すぐにハードドライブを取り付けない場合は、空のハードドライブスロットにハードドライブキャリアのダミーを挿入するか、またはハードドライブキャリアを取り付けます。
- 2 前面ベゼルを取り外した場合は、取り付けます。

#### 関連するリンク

[安全にお使いいただくために](#)  
[オプションの前面ベゼルの取り外し](#)  
[ホットスワップ対応ハードドライブキャリアの取り付け](#)  
[オプションの前面ベゼルの取り付け](#)

## ホットスワップ対応ハードドライブキャリアの取り付け

#### 前提条件

**△ 注意:** ハードドライブバックプレーン用として使用が認められているテスト済みのハードドライブのみを使用してください。

- △ **注意:** ハードドライブの取り付け時は、隣接するドライブが完全に取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないキャリアの隣にハードドライブキャリアを挿入してハンドルをロックしようとする、完全に取り付けられていないキャリアのシールドバネが損傷し、使用できなくなる可能性があります。
- △ **注意:** データの損失を防ぐために、お使いのオペレーティングシステムがホットスワップによるドライブの取り付けに対応していることを確認してください。お使いの OS のマニュアルを参照してください。
- △ **注意:** ホットスワップ対応の交換用ハードディスクドライブを取り付け、システムの電源を入れると、ハードディスクドライブの再構築が自動的に始まります。交換用ハードドライブが空であるか、または上書きしてよいデータのみが格納されていることを必ず確認してください。交換用ハードディスクドライブ上のデータはすべて、ハードディスクドライブの取り付け後ただちに失われます。
- ① **メモ:** ホットスワップ対応ハードドライブは、ハードドライブスロットに収まるホットスワップ対応ハードドライブキャリアに装着されて提供されま

- 1 前面ベゼルが取り付けられている場合は、取り外します。
- 2 ハードドライブキャリアのダミーが取り付けられている場合は、取り外します。
- 3 ホットスワップ対応ハードドライブをホットスワップ対応ハードドライブキャリアに取り付けます。

- 手順**
- 1 ホットスワップ対応ハードドライブキャリア前面のリリースボタンを押して、ホットスワップ対応ハードドライブキャリアのハンドルを開きます。
  - 2 ホットスワップ対応ハードドライブキャリアをハードドライブスロットに挿入し、ホットスワップ対応ハードドライブキャリアがバックプレーンに接触するまで押し込みます。
  - 3 ホットスワップ対応ハードドライブキャリアのハンドルを閉じて、ホットスワップ対応ハードドライブキャリアを所定の位置にロックします。

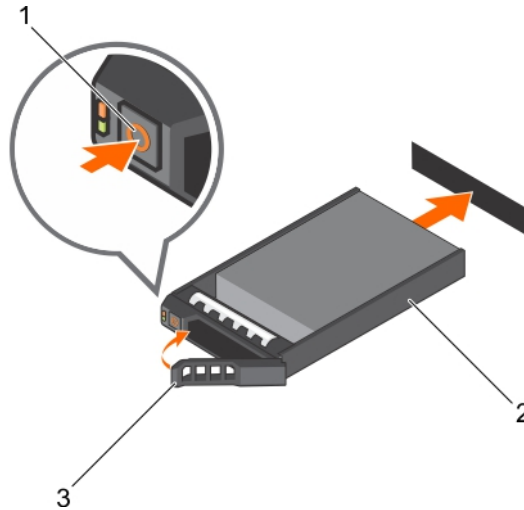


図 21. ホットスワップ対応ハードドライブキャリアの取り付け

- |   |                 |   |             |
|---|-----------------|---|-------------|
| 1 | リリースボタン         | 2 | ハードドライブキャリア |
| 3 | ハードドライブキャリアハンドル |   |             |

#### 次の手順

前面ベゼルを取り外した場合は、取り付けます。

#### 関連するリンク

- [安全にお使いいただくために](#)
- [オプションの前面ベゼルの取り外し](#)
- [ハードドライブキャリアへのハードドライブまたはソリッドステートドライブの取り付け](#)
- [オプションの前面ベゼルの取り付け](#)

# ハードドライブキャリアからのハードドライブまたはソリッドステートドライブの取り外し

## 前提条件

- 1 #1 プラスドライバを準備しておきます。
- 2 システムからホットスワップ対応ハードドライブキャリアを取り外します。

## 手順

- 1 ハードドライブキャリアのスライドレールからネジを外します。
- 2 ハードドライブを持ち上げてハードドライブキャリアから取り出します。

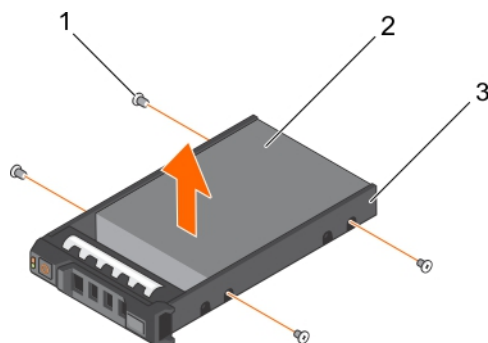


図 22. ハードドライブキャリアからのハードドライブの取り外し

- |   |             |   |         |
|---|-------------|---|---------|
| 1 | ネジ (4)      | 2 | ハードドライブ |
| 3 | ハードドライブキャリア |   |         |

## 次の手順

該当する場合は、ハードドライブをハードドライブキャリアに取り付けます。

## 関連するリンク

[ホットスワップ対応ハードドライブキャリアの取り外し](#)

# ハードドライブキャリアへのハードドライブまたはソリッドステートドライブの取り付け

## 前提条件

## 手順

- 1 ハードドライブのコネクタ側をキャリアの後部に向けて、ハードドライブをハードドライブキャリアに挿入します。
- 2 ハードドライブのネジ穴をハードドライブキャリアのネジ穴に合わせます。  
正しく揃うと、ハードドライブの背面がハードドライブキャリアの背面と同一面に揃います。
- 3 ネジを取り付けて、ハードドライブをハードドライブキャリアに固定します。

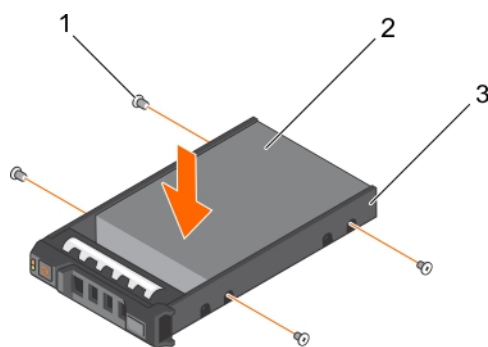


図 23. ハードドライブキャリアへのハードドライブの取り付け

- |   |             |   |         |
|---|-------------|---|---------|
| 1 | ネジ (4)      | 2 | ハードドライブ |
| 3 | ハードドライブキャリア |   |         |

#### 次の手順

ホットスワップ対応ハードドライブキャリアを取り付けます。

#### 関連するリンク

[ホットスワップ対応ハードドライブキャリアの取り付け](#)

## 冷却ファン

お使いのシステムは以下をサポートしています。

- 非冗長電源装置ユニット (PSU) 構成では最大 4 台の冷却ファン。
- 冗長 PSU 構成では最大 5 台の冷却ファン。

① **メモ:** 冗長 PSU 構成では、ファン 1 を取り付ける必要があります。

① **メモ:** ホットスワップによるファンの取り外しまたは取り付けはサポートされていません。

① **メモ:** それぞれのファンは、システム管理ソフトウェアに記載され、各ファン番号で参照されます。特定のファンに問題が発生した場合は、冷却ファンアセンブリ上のファン番号をメモしておくことで、容易に識別し適切なファンを交換できます。

## 冷却ファンの取り外し

#### 前提条件

① **メモ:** 各ファンの取り外し手順は同じです。

- 1 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 2 「システム内部の作業を始める前に」の項に記載された手順に従います。
- 3 冷却シュラウドを取り外します。
- 4 冷却エアフローカバーが取り付けられている場合は、取り外します。

#### 手順

- 1 システム基板または電源インタポーザボードの電源コネクタから電源ケーブルを外します。
- 2 ファンを持ち上げて冷却ファンブラケットから取り出します。

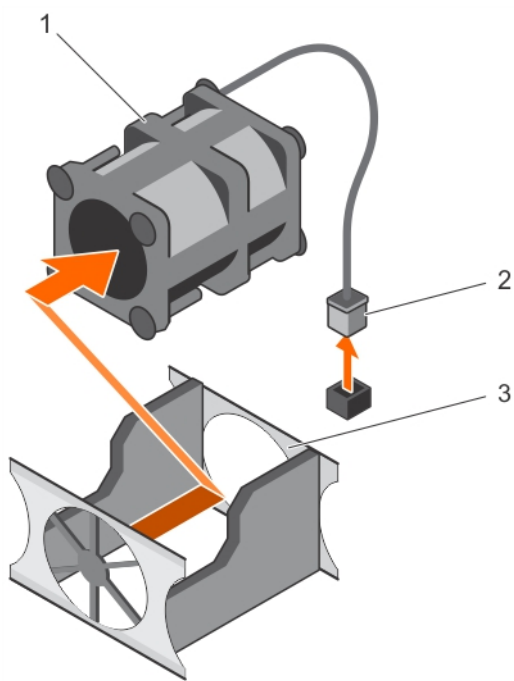


図 24. 冷却ファンの取り外し

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1 冷却ファン      | 2 電源ケーブル コネクター |
| 3 冷却ファンブラケット |                |

#### 次の手順

- 1 冷却ファンを取り付けます。
- 2 「システム内部の作業を終えた後に」の項に記載された手順に従います。

#### 関連するリンク

[安全にお使いいただくために](#)  
[システム内部の作業を始める前に](#)  
[冷却エアフローカバーの取り外し](#)  
[冷却ファンの取り付け](#)  
[冷却エアフローカバーの取り付け](#)  
[システム内部の作業を終えた後に](#)

## 冷却ファンの取り付け

#### 前提条件

① **メモ:** 各ファンの取り付け手順は同じです。

- 1 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 2 「システム内部の作業を始める前に」の項に記載された手順に従います。
- 3 冷却シュラウドを取り外します。
- 4 冷却ファンダミーが取り付けられている場合は、取り外します。

## 手順

- 1 ファンを冷却ファンブラケットまで下げます。
- 2 電源ケーブルをシステム基板の電源ケーブルコネクタに接続します。

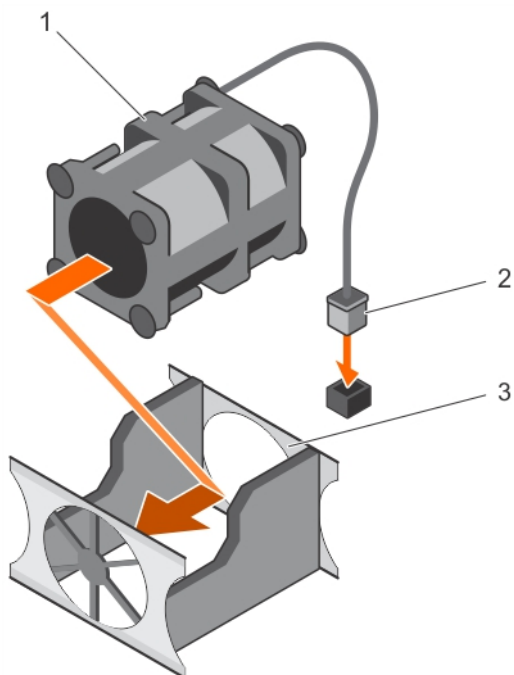


図 25. 冷却ファンの取り付け

- 1 冷却ファン
- 3 冷却ファンブラケット

- 2 電源ケーブル コネクター

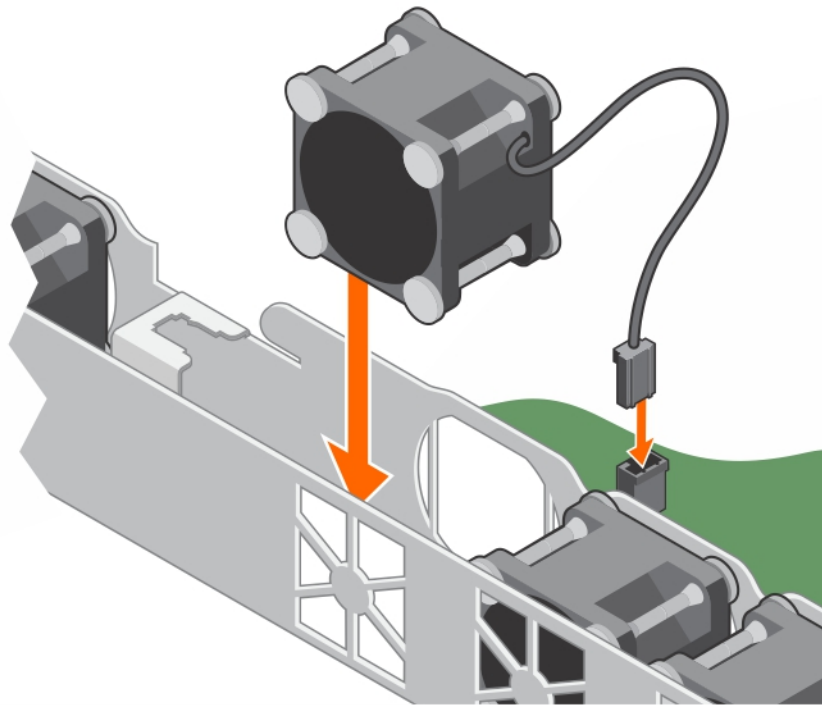


図 26. 冷却ファンの取り付け

#### 次の手順

- 1 冷却エアフローカバーを取り付けます。
- 2 「システム内部の作業を終えた後に」の項に記載された手順に従います。

#### 関連するリンク

安全にお使いいただくために  
システム内部の作業を始める前に  
冷却エアフローカバーの取り外し  
冷却エアフローカバーの取り付け  
システム内部の作業を終えた後に

## 拡張カードと拡張カードライザー

システム内の拡張カードは、システム基板上の拡張スロットに挿入可能なアドオンカード、あるいは拡張バスを介してシステムに拡張機能を追加するライザーカードです。

- ① **メモ:** 拡張カードライザーがサポートされていない、または欠落している場合は、システムイベントログ (SEL) イベントが記録されます。システムへの電源投入には支障がなく、BIOS POST メッセージも F1/F2 一時停止も表示されません。

## 拡張カードの取り付けガイドライン

お使いのシステムは、第 2 世代と第 3 世代のカードをサポートしています。次の表には、XC430 Xpress のライザー構成が記載されています。

表 12. 拡張カードライザーで利用可能な拡張カードスロット

拡張カードライザー	拡張カードライザーの PCIe スロット	プロセッサの接続	高さ	長さ	リンク幅	スロット幅
PCIE_G3_X16	1	プロセッサ 1	ロープロファイル	ハーフレンクス	x16	x16
	2	プロセッサ 1	ロープロファイル	ハーフレンクス	x16	x16
PCIE_G3_X8	1	プロセッサ 1	フルハイト	ハーフレンクス	x8	x16
	2	プロセッサ 1	ハーフハイト	ハーフレンクス	x8	x16

① **メモ:** PCIe\_G3\_X8 と PCIe\_G 3\_X16 は XC430 Xpress でサポートされる 2 つの異なるタイプのライザーです。拡張カードは、拡張カードライザーを使用する場合にのみシステム基板に取り付けることができます。

① **メモ:** 拡張カードはホットスワップ対応ではありません。

## 拡張カードライザーの取り外し

### 前提条件

- 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 「システム内部の作業を始める前に」の項に記載された手順に従います。

### 手順

タッチポイントを持ち、拡張カードライザーを持ち上げてシステム基板上的ライザーコネクタから外します。

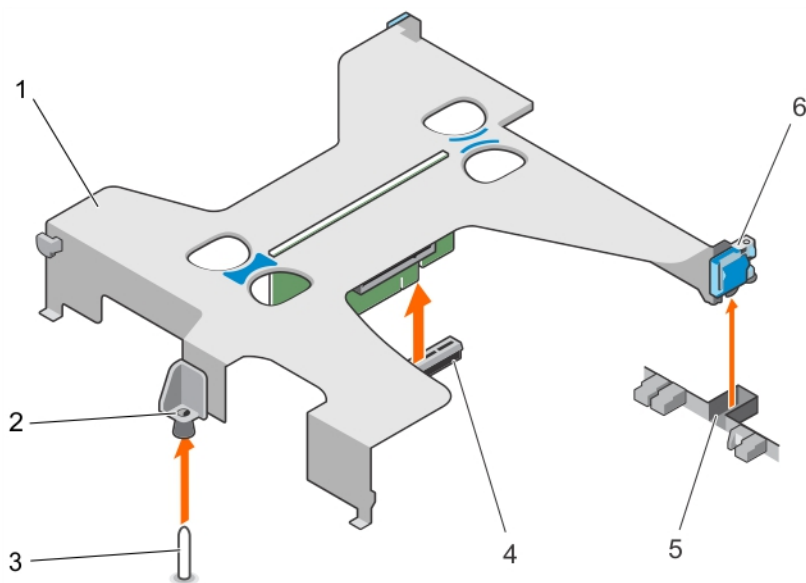


図 27. 拡張カードライザーの取り外し

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1 拡張カードライザー    | 2 拡張カードライザーのガイド    |
| 3 システム基板のガイドピン | 4 システム基板上的ライザーコネクタ |

**次の手順**

- 1 拡張カードライザーを取り付けます。
- 2 「システム内部の作業を終えた後に」の項に記載された手順に従います。

**関連するリンク**

[安全にお使いいただくために](#)  
[システム内部の作業を始める前に](#)  
[拡張カードライザーの取り付け](#)  
[システム内部の作業を終えた後に](#)

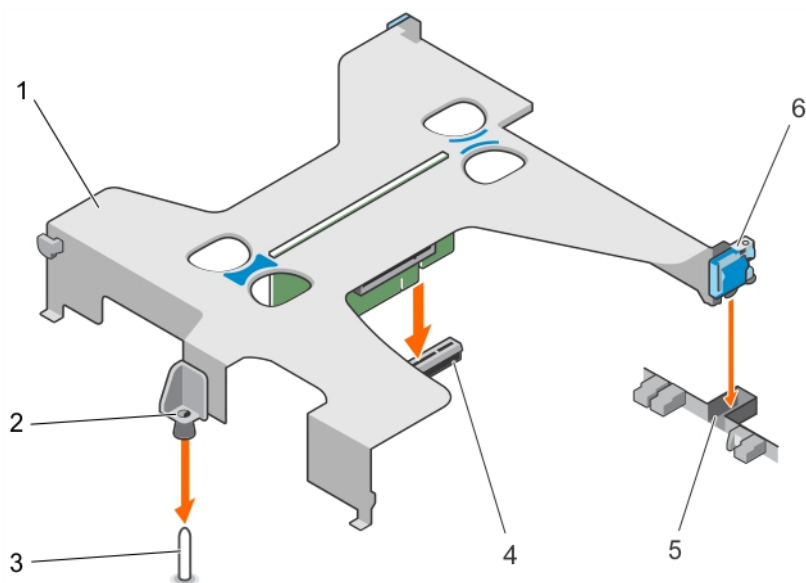
## 拡張カードライザーの取り付け

**前提条件**

- 1 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 2 「システム内部の作業を始める前に」の項に記載された手順に従います。
- 3 拡張カードを拡張カードライザーに取り付けます。

**手順**

- 1 部品を次のように配置してください。
  - a 拡張カードライザーのガイドをシステム基板上のガイドピンに合わせます。
  - b 拡張カードライザーのラッチをシャーシのスロットに合わせます。
- 2 拡張カードライザーがシステム基板のコネクタにしっかり装着されるまで拡張カードライザーを下げます。
- 3 拡張カードライザーラッチを閉じます。

**図 28. 拡張カードライザーの取り付け**

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1 拡張カードライザー    | 2 拡張カードライザーのガイド    |
| 3 システム基板のガイドピン | 4 システム基板上のライザーコネクタ |

**次の手順**

「システム内部の作業を終えた後に」の項に記載された手順に従います。

**関連するリンク**

- [安全にお使いいただくために](#)
- [システム内部の作業を始める前に](#)
- [拡張カードの取り付け](#)
- [システム内部の作業を終えた後に](#)

## 拡張カードの取り外し

**前提条件**

- 1 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 2 「システム内部の作業を始める前に」の項に記載された手順に従います。
- 3 拡張カードまたは拡張カードライザーに取り付けられているケーブルをすべて外します。
- 4 拡張カードライザーが取り付けられている場合は、取り外します。

**手順**

- 1 拡張カードの端をつかんで、拡張カードライザーコネクタから取り外します。
- 2 カードを取り外したままにする場合は、空の拡張カードスロットにフィラーブラケットを取り付け、拡張カードラッチを閉じます。

- ① **メモ:** FCC ( 米国連邦通信委員会 ) によるシステムの認証を維持するには、空いている拡張カードスロットにフィラーブラケットを取り付ける必要があります。このブラケットには、ゴミやホコリがシステムに入るのを防ぐほか、システム内部の適正な冷却と通気を助ける役割もあります。

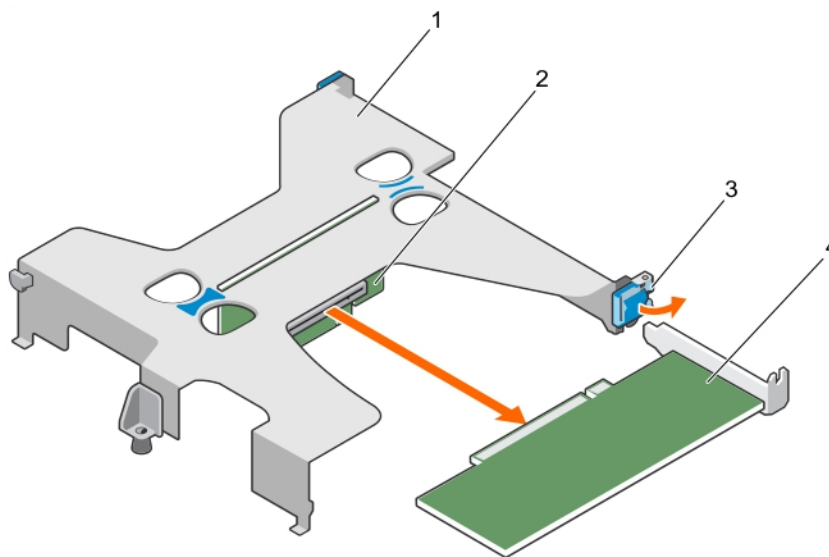


図 29. 拡張カードライザーからの拡張カードの取り外し

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1 拡張カードライザー | 2 拡張カードライザーコネクタ |
| 3 拡張カードラッチ  | 4 拡張カード         |

**次の手順**

- 1 拡張カードを取り付けます。

- 2 拡張カードライザーを取り付けます。
- 3 「システム内部の作業を終えた後に」の項に記載された手順に従います。

#### 関連するリンク

安全にお使いいただくために  
システム内部の作業を始める前に  
拡張カードライザーの取り外し  
拡張カードの取り付け  
拡張カードライザーの取り付け  
システム内部の作業を終えた後に

## 拡張カードの取り付け

#### 前提条件

- 1 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 2 「システム内部の作業を始める前に」の項に記載された手順に従います。
- 3 拡張カードライザーを取り外します。

#### 手順

- 1 ライザー上の拡張カードコネクタの位置を確認します。
- 2 拡張カードの両端を持って、カードコネクタが拡張カードライザーのコネクタに揃うようにカードをセットします。
- 3 拡張カードブラケットをシャーシのフックに合わせます。
- 4 カードがしっかりと装着されるまで、カードコネクタを拡張カードライザーコネクタに挿入します。

① | **メモ:** 拡張カードラッチを閉じることができるように、拡張カードがシャーシに正しく装着されていることを確認します。

- 5 必要に応じて、ケーブルを拡張カードに接続します。

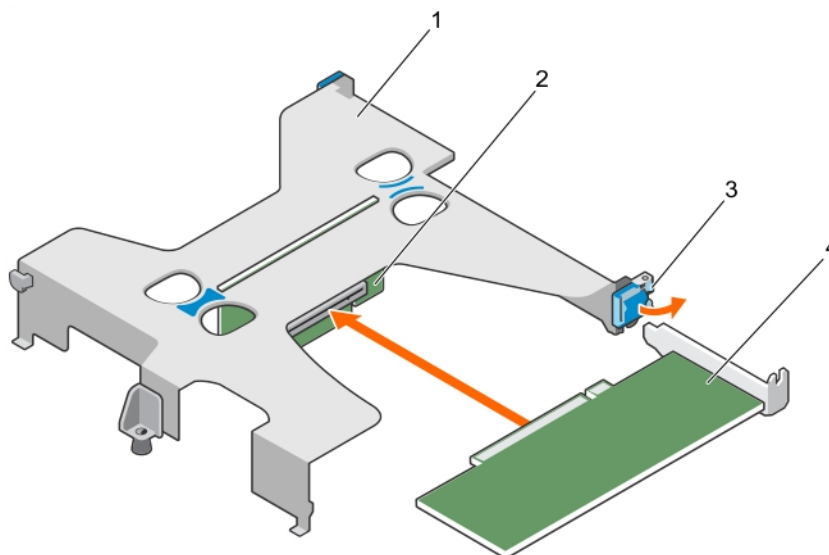


図 30. 拡張カードライザーへの拡張カードの取り付け

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1 拡張カードライザー | 2 拡張カードライザーコネクタ |
| 3 拡張カードラッチ  | 4 拡張カード         |

## 次の手順

- 1 拡張カードライザーを取り付けます。
- 2 「システム内部の作業を終えた後に」の項に記載された手順に従います。

## 関連するリンク

安全にお使いいただくために  
システム内部の作業を始める前に  
拡張カードライザーの取り外し  
拡張カードライザーの取り付け  
システム内部の作業を終えた後に

# iDRAC ポートカード

iDRAC ポートカードは SD vFlash カードスロットと、iDRAC ポートで構成されています。iDRAC ポートカードは専用の NIC ポートを備え、ネットワーク経由でのシステムのリモート高度管理に使用されます。

SD vFlash カードは、iDRAC ポートカードの SD vFlash カードスロットに挿入するセキュアデジタル ( SD ) カードです。このカードは、持続的なオンデマンドローカルストレージとカスタムデプロイメント環境を実現することで、サーバー設定、スクリプト、イメージングの自動化を可能にします。SD vFlash カードは USB デバイスをエミュレートします。詳細については、[Dell.com/idracmanuals](http://Dell.com/idracmanuals) で『Integrated Dell Remote Access Controller User's Guide』 ( Integrated Dell Remote Access Controller ユーザーズガイド ) を参照してください。

# 内部 SD モジュール

内部 SD モジュール ( ISDM ) をストレージ用または OS 起動パーティションとして設定できます。ISDM カードは、冗長性のないシングルカードオペレーションをサポートします。

# 内部 SD モジュールの取り外し

## 前提条件

- 1 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 2 「システム内部の作業を始める前に」の項に記載された手順に従います。

## 手順

- 1 システム基板の内部 SD モジュール ( ISDM ) の位置を確認します。
- 2 SD カードが取り付けられている場合は、取り外します。
- 3 プラスチック製のプルタブを持ち、SD モジュールを引いてシステム基板から取り外します。

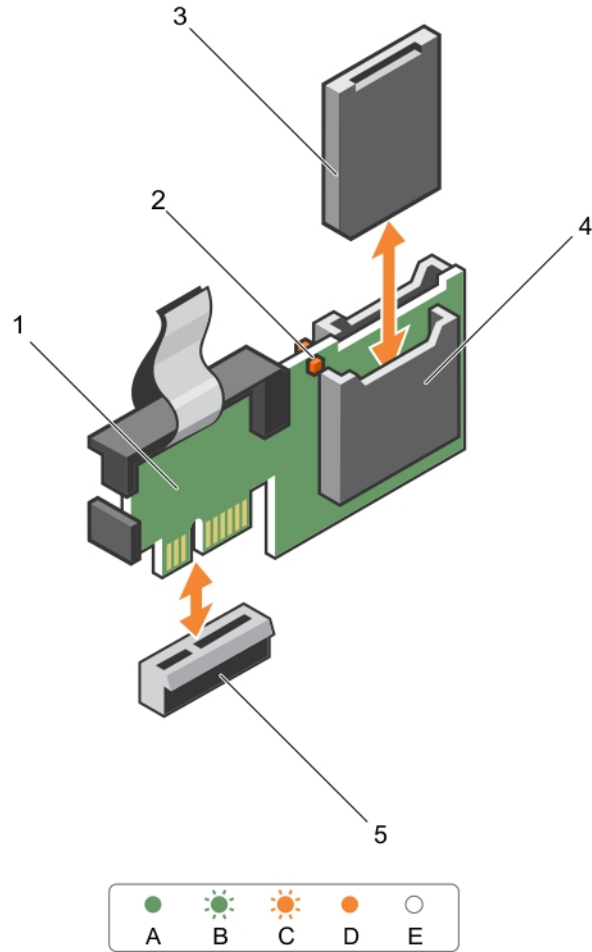


図 31. 内部 SD モジュール ( ISDM ) の取り外し

- |   |           |   |                       |
|---|-----------|---|-----------------------|
| 1 | ISDM      | 2 | LED ステータスインジケータ ( 2 ) |
| 3 | SD カード    | 4 | SD カードスロット 1          |
| 5 | ISDM コネクタ |   |                       |

次の表は、ISDM インジケータコードについて説明しています。

表 13. ISDM インジケータコード

表記規則	ISDM インジケータコード	説明
A	緑色	カードがオンラインであることを示します。
B	緑色の点滅	再構築またはアクティビティを示します。
C	橙色の点滅	カードの不一致またはカードに障害が発生したことを示します。
D	橙色	カードがオフライン、故障している、または書き込みが禁止されていることを示します。
E	消灯	カードが取り付けられていないか、起動していないことを示します。

## 次の手順

- 1 取り外した場合は、SD カードを取り付けます。
- 2 「システム内部の作業を終えた後に」の項に記載された手順に従います。

## 関連するリンク

[安全にお使いいただくために](#)  
[システム内部の作業を始める前に](#)  
[システム内部の作業を終えた後に](#)

# 内部 SD モジュールの取り付け

## 前提条件

- 1 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 2 「システム内部の作業を始める前に」の項に記載された手順に従います。

## 手順

- 1 システム基板上の内部 SD モジュール ( ISDM ) コネクタの位置を確認します。
- 2 ISDM をシステム基板上のコネクタの位置に合わせます。
- 3 システム基板にしっかりと装着されるまで、ISDM を押し込みます。

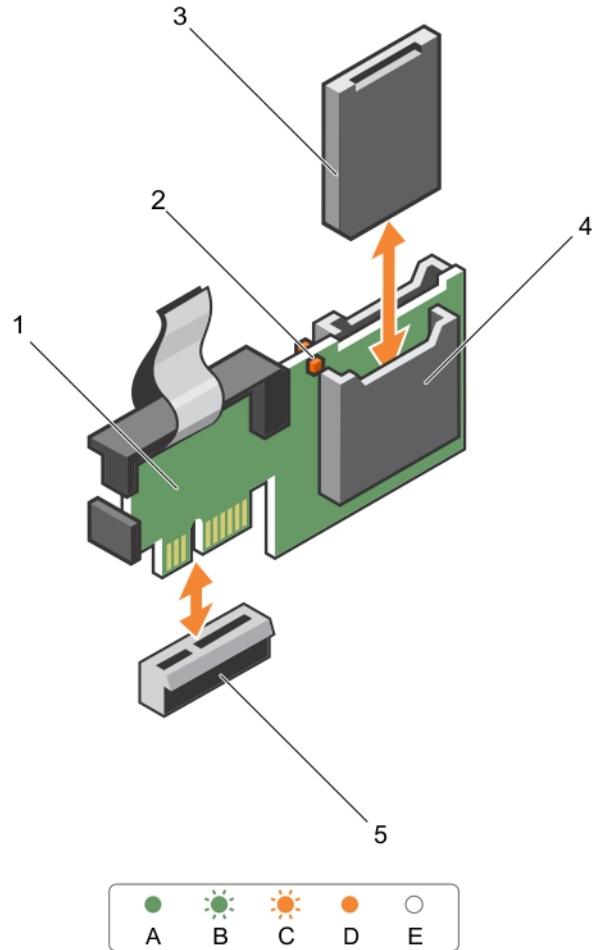


図 32. 内部 SD モジュールの取り付け

#### 次の手順

- 1 SD カードを取り付けます。
- 2 「システム内部の作業を終えた後に」の項に記載された手順に従います。

#### 関連するリンク

安全にお使いいただくために  
 システム内部の作業を始める前に  
 システム内部の作業を終えた後に

## 電源装置ユニット

お使いのシステムは、550 W AC (冗長) 電源装置ユニット (PSU) をサポートしています。

2 台の同一 PSU が取り付けられている場合、PSU 構成が冗長 (1+1)。冗長モードでは、効率性を最大化するため、システムに対して両方の PSU から電力が同等に供給されます。

① **メモ:** 2 台の PSU を使用する場合は、両方のタイプと最大出力電力が同一である必要があります。

① **メモ:** AC PSU の場合は、背面に拡張電源パフォーマンス (EPP) のラベルが貼付されている PSU のみを使用してください。

# ホットスペア機能

お使いのシステムではホットスペア機能がサポートされており、電源装置ユニット ( PSU ) の冗長性に関連する電力のオーバーヘッドが大幅に軽減されます。

ホットスペア機能を有効に設定すると、冗長 PSU のうち 1 台がスリープ状態に切り替わります。アクティブな PSU が負荷の 100% を支えるため、効率良く動作します。スリープ状態の PSU は、アクティブな PSU の出力電圧を監視します。アクティブな PSU の出力電圧が低下すると、スリープ状態の PSU がアクティブな出力状態に戻ります。

1 台の PSU をスリープ状態にするよりも、両方の PSU をアクティブする方が効率的な場合は、アクティブな PSU でスリープ状態の PSU をアクティブにできます。

デフォルトの PSU 設定は次の通りです。

- アクティブな PSU の負荷が 50% を超えている場合、冗長 PSU はアクティブ状態に切り替えられます。
- アクティブな PSU の負荷が 20% を下回った場合、冗長 PSU はスリープ状態に切り替えられます。

iDRAC 設定を使用してホットスペア機能を設定できます。iDRAC 設定の詳細については、『*Integrated Dell Remote Access Controller User's Guide*』( Integrated Dell Remote Access Controller ユーザーズガイド ) ( [Dell.com/idracmanuals](http://Dell.com/idracmanuals) ) を参照してください。

## 冗長電源装置ユニットの取り外し

### 前提条件

**△ 注意:** システムが正常に動作するには、電源装置ユニット ( PSU ) 1 台が必要です。冗長電源システムでは、電源が入ったシステムでの PSU の取り外しと取り付けは、一度に 1 台ずつ行ってください。

- 1 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 2 電源から電源ケーブルを外します。
- 3 PSU から電源ケーブルを外し、システムケーブルを束ねて固定しているストラップを外します。
- 4 PSU の取り外しに支障がある場合は、ラッチを外してオプションのケーブルマネージメントアームを持ち上げます。ケーブルマネージメントアームの情報については、[Dell.com/poweredgemanuals](http://Dell.com/poweredgemanuals) でシステムラックのマニュアルを参照してください。

### 手順

リリースラッチを押し、PSU を引いてシャーシから取り外します。

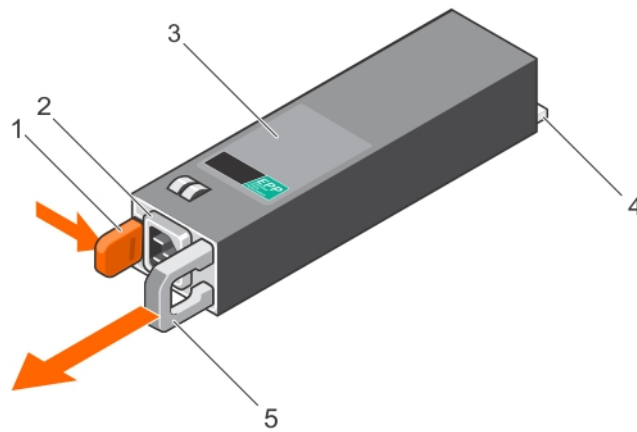


図 33. 冗長 PSU の取り外し

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 リリースラッチ  | 2 PSU コネクタ |
| 3 PSU      | 4 電源コネクタ   |
| 5 PSU ハンドル |            |

#### 次の手順

PSU を取り付けます。

① **メモ:** PSU を取り外したままにする場合は、PSU ダミーを取り付けます。

#### 関連するリンク

安全にお使いいただくために  
冗長電源装置ユニットの取り付け

## 冗長電源装置ユニットの取り付け

#### 前提条件

- 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 両方の電源装置ユニット ( PSU ) が同じタイプであり、最大出力電力が同じであることを確認します。

① **メモ:** 最大出力電力 ( ワット ) は、PSU ラベルに記載されています。

- PSU のダミーが取り付けられている場合は、取り外します。

#### 手順

新しい PSU が完全に装着され、リリースラッチが所定の場所にカチッと固定されるまで、PSU をシャーシ内にスライドさせます。

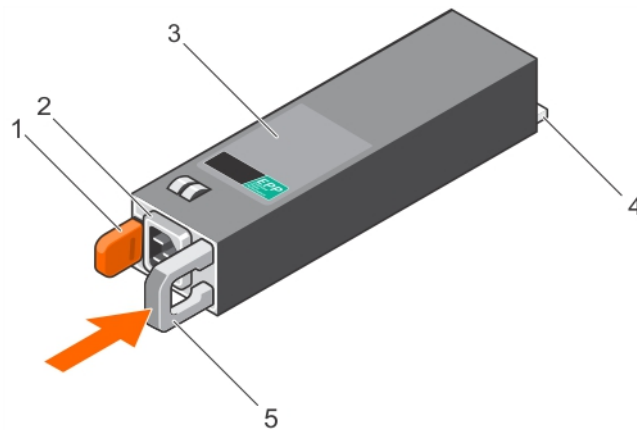


図 34. 冗長 PSU の取り付け

- |   |          |   |              |
|---|----------|---|--------------|
| 1 | リリースラッチ  | 2 | PSU ケーブルコネクタ |
| 3 | PSU      | 4 | 電源コネクタ       |
| 5 | PSU ハンドル |   |              |

#### 次の手順

- 1 ケーブルマネージメントアームのラッチを外している場合は、再びラッチをかけます。ケーブルマネージメントアームの詳細については、システムのラックに関するマニュアルを参照してください。
- 2 電源ケーブルを PSU に接続し、電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込みます。

**△ | 注意:** 電源ケーブルを接続する際には、ケーブルをストラップで固定してください。

**① | メモ:** 2 台の PSU を搭載したシステムに新しい PSU の取り付け、ホットスワップ、またはホットアッドする際は、システムが PSU を認識して、そのステータスを判断するまで数秒かかります。PSU ステータスインジケータが緑色に点灯すれば、PSU は正常に機能しています。

## システムバッテリー

システムバッテリーを使用して、リアルタイムクロックに電力を供給し、システムの BIOS 設定を保存します。

## システムバッテリーの交換

#### 前提条件

**① | :** 新しいバッテリーは取り付け方が間違っていると、破裂する恐れがあります。製造元が推奨する型、またはそれと同等の製品を取り付けてください。詳細については、お使いのシステムに同梱の「安全にお使いいただくための注意事項」を参照してください。

- 1 「安全にお使いいただくために」の項に記載された安全ガイドラインに従ってください。
- 2 「システム内部の作業を始める前に」の項に記載された手順に従います。
- 3 冷却シュラウドを取り外します。
- 4 拡張カードライザーが取り付けられている場合は、取り外します。

#### 手順

- 1 バッテリーソケットの位置を確認します。詳細については、「システム基板コネクタ」の項を参照してください。

**△ | 注意:** バッテリーの取り付け、取り外しの際には、バッテリーコネクタが破損しないようにしっかり支えてください。

- 2 バッテリーコネクタのマイナス側の固定タブの間に指を置き、バッテリーを持ち上げてソケットから取り外します。



## システム診断プログラムの使用

システムに問題が発生した場合は、Dell EMC のテクニカルサポートに問い合わせる前に、システム診断プログラムを実行してください。システム診断プログラムを使うと、特別な装置を使用せずにシステムハードウェアをテストでき、データが失われる心配もありません。お客様がご自分で問題を解決できない場合は、サービスおよびサポート担当者が診断プログラムの結果を使って問題解決の手助けを行うことができます。

### Dell 組み込み型システム診断

① | **メモ:** Dell 組み込み型システム診断は、Enhanced Pre-boot System Assessment ( ePSA ) 診断としても知られています。

組み込み型システム診断プログラムには、特定のデバイスグループや各デバイス用の一連のオプションが用意されており、以下の処理が可能です。

- テストを自動的に、または対話モードで実行
- テストの繰り返し
- テスト結果の表示または保存
- 詳細なテストで追加のテストオプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示

### 組み込み型システム診断プログラムを使用する状況

お使いのシステムが起動しない場合に、組み込み型システム診断プログラム ( ePSA ) を実行します。

### 起動マネージャからの組み込み型システム診断プログラムの実行

#### 前提条件

お使いのシステムが起動しない場合に、組み込み型システム診断プログラム ( ePSA ) を実行します。

#### 手順

- 1 システムの起動中に、F10 を押します。
- 2 上矢印キーおよび下矢印キーを使用して、**System Utilities ( システムユーティリティ ) > Launch Diagnostics ( Diagnostics ( 診断 ) の起動 )** を選択します。  
**ePSA Pre-boot System Assessment ( ePSA 起動前システムアセスメント )** ウィンドウが表示され、システム内で検知された全デバイスがリストアップされます。Diagnostics ( 診断 ) が検知された全デバイスのテストを開始します。

### Dell Lifecycle Controller からの組み込み型システム診断プログラムの実行

- 1 システム起動中に F10 を押します。
- 2 **Hardware Diagnostics ( ハードウェア診断 )** → **Run Hardware Diagnostics ( ハードウェア診断の実行 )** を選択します。

**ePSA Pre-boot System Assessment ( ePSA 起動前システムアセスメント )** ウィンドウが表示され、システム内で検知された全デバイスがリストアップされます。Diagnostics ( 診断 ) が検知された全デバイスのテストを開始します。

## システム診断プログラムのコントロール

メニュー	説明
Configuration	検知された全デバイスの設定およびステータス情報が表示されます。
Results	実行された全テストの結果が表示されます。
システム正常	システムパフォーマンスの現在の概要が表示されます。
Event log	システムで実行された全テストの結果のタイムスタンプ付きログが表示されます。少なくとも1つのイベントの説明が記録されていれば、このログが表示されます。

## ジャンパとコネクタ





トピック：

- システム基板のジャンパ設定
- システム基板のコネクタ
- パスワードを忘れたとき

### システム基板のジャンパ設定

パスワードジャンパをリセットしてパスワードを無効にすることについての詳細は、「パスワードを忘れたとき」の項を参照してください。

表 14. システム基板のジャンパ設定

ジャンパ	設定	説明
PWRD_EN	 2 4 6 (default)	パスワードリセット機能が有効です (ピン 2 ~ 4)。
	 2 4 6	パスワードリセット機能が無効です(ピン 4 ~ 6)。iDRAC ローカルアクセスは次回の AC 電源サイクルでロック解除されます。
NVRAM_CLR	 1 3 5 (default)	構成設定が次のシステム起動時に保持されます (ピン 3 ~ 5)。
	 1 3 5	構成設定がシステム起動時にクリアされます (ピン 1 ~ 3)。

# システム基板のコネクタ

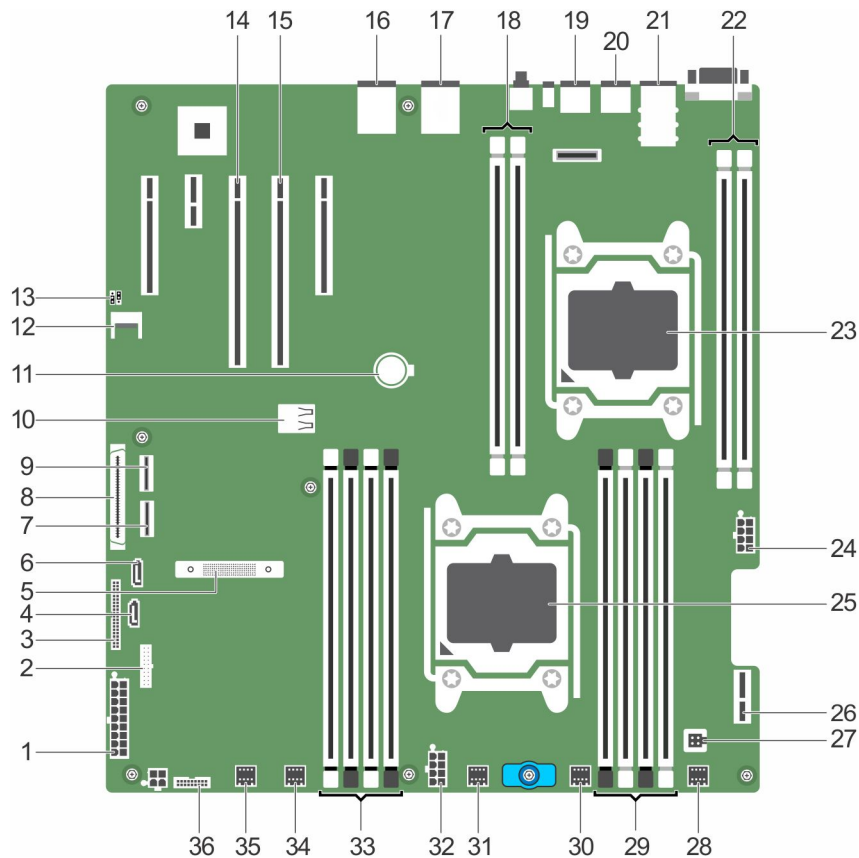


図 37. システム基板のジャンパとコネクタ

表 15. システム基板のジャンパとコネクタ

アイテム	コネクタ	説明
1	SYS_PWR_CONN (P1)	24 ピン電源コネクタ
2	FB_USB	前面パネル USB コネクタ
3	PIB_CONN	電源インタポーザボードコネクタ
4	SATA_CDROM	SATA コネクタ CDROM
5	MiniPERC PCIE_G3_X8 (CPU1)	Mini PERC カードコネクタ
6	SATA_TBU	SATA コネクタテープバックアップ装置
7	SW_RAID_B	ソフトウェア RAID コネクタ B
8	CTRL_PNL	コントロールパネルインタフェースコネクタ
9	SW_RAID_A	ソフトウェア RAID コネクタ A
10	INT_USB_3.0	内部 USB コネクタ
11	BATTERY	バッテリーコネクタ
12	TPM_MODULE	Trusted Platform Module コネクタ

アイテム	コネクタ	説明
13	J_PSWD_NVRAM	詳細については、「システム基板ジャンパの設定」の項を参照してください。
14	SLOT3 PCIE_G3_X16(CPU1)	PCIe カードコネクタ 3
15	SLOT2 PCIE_G3_X16(CPU1)	PCIe カードコネクタ 2
		<p><b>① メモ:</b> PCIE_G3_X8 と PCIE_G3_X16 は、XC430 Xpress でサポートされる 2 つの異なるタイプのライザーです。拡張カードは、拡張カードライザーを使用する場合にのみシステム基板に取り付けることができます。取り付けガイドラインの詳細に関しては、「拡張カードの取り付けガイドライン」の項を参照してください。</p>
16	NIC4	ネットワークコネクタ
17	NIC3	ネットワークコネクタ
18	B1、B2	メモリモジュールソケット
19	USB2_3.0	USB コネクタ
20	USB1	USB コネクタ
21	NIC1 および NIC2	ネットワークコネクタ
22	B3、B4	メモリモジュールソケット
23	CPU2	プロセッサソケット 2
24	PWR_CONN_C(P3)	8 ピン電源コネクタ
25	CPU1	プロセッサソケット 1
26	ISDM	内部 SD モジュールコネクタ
27	インテルーション	インテルーションスイッチコネクタ
28	FAN6	冷却ファンコネクタ
29	A1、A5、A2、A6	メモリモジュールソケット
30	FAN5	冷却ファンコネクタ
31	FAN4	冷却ファンコネクタ
32	PWR_CONN_B(P2)	8 ピン電源コネクタ
33	A3、A7、A4、A8	メモリモジュールソケット
34	FAN3	冷却ファンコネクタ
35	FAN2	冷却ファンコネクタ
36	BP_SIG	バックプレーン信号コネクタ

#### 関連するリンク

- [システム基板のジャンパ設定](#)
- [拡張カードの取り付けガイドライン](#)

# パスワードを忘れたとき

システムのソフトウェアセキュリティ機能として、システムパスワードとセットアップパスワードがあります。パスワードジャンパを使用すると、パスワード機能を有効または無効にしたり、現在使用中の任意のパスワードをクリアしたりすることができます。

## 前提条件

### 手順

- 1 システムおよび接続されているすべての周辺機器の電源を切り、システムをコンセントから外します。
- 2 システムカバーを取り外します。
- 3 システム基板ジャンパ上のジャンパを 4 および 6 番ピンから 2 および 4 番ピンに動かします。
- 4 システムカバーを取り付けます。  
ピン 2 と 4 にジャンパを取り付けた状態でシステムを起動するまで、既存のパスワードは無効化（消去）されません。ただし、新しいシステムパスワードとセットアップパスワード（両方、またはどちらか一方）を設定する前に、ジャンパを移動してピン 4 と 6 に戻しておく必要があります。

① **メモ:** 2 および 4 番ピンにジャンパがある状態で新規システムパスワードまたはセットアップパスワードを割り当てると、システムは次の起動時に新しいパスワードを無効化します。

- 5 システムを電源コンセントに接続し、電源を入れます（接続されている各種周辺機器を含む）。
- 6 システムおよび接続されているすべての周辺機器の電源を切り、システムをコンセントから外します。
- 7 システムカバーを取り外します。
- 8 システム基板ジャンパ上のジャンパを 2 および 4 番ピンから 4 および 6 番ピンに動かします。
- 9 システムカバーを取り付けます。
- 10 システムを電源コンセントに接続し、電源を入れます（接続されている各種周辺機器を含む）。
- 11 新しいシステムパスワードとセットアップパスワードの両方またはそのどちらか一方を設定します。

## 困ったときは

トピック：

- Dell EMC へのお問い合わせ
- マニュアルのフィードバック
- QRL によるシステム情報へのアクセス

## Dell EMC へのお問い合わせ

Dell EMC では、オンラインおよび電話ベースのサポートとサービスのオプションをいくつかご用意しています。アクティブなインターネット接続がない場合は、ご購入時の納品書、梱包内容明細書、請求書、または Dell EMC 製品カタログで連絡先をご確認ください。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスをご利用になれない場合があります。

### このタスクについて

Dell EMC のセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせください。

#### 手順

- 1 [Dell.com/support](https://Dell.com/support) にアクセスしてください。
- 2 お住まいの国を、ページ右下隅のドロップダウンメニューから選択します。
- 3 カスタマイズされたサポートを利用するには、次の手順に従います。
  - a **Enter your Service Tag ( サービスタグの入力 )** フィールドに、お使いのシステムのサービスタグを入力します。
  - b **Submit ( 送信 )** をクリックします。  
さまざまなサポートのカテゴリをリストアップしているサポートページが表示されます。
- 4 一般的なサポートを利用するには、次の手順に従います。
  - a 製品カテゴリを選択します。
  - b 製品セグメントを選択します。
  - c お使いの製品を選択します。  
さまざまなサポートのカテゴリをリストアップしているサポートページが表示されます。
- 5 Dell EMC グローバルテクニカルサポートへのお問い合わせ先詳細：
  - a [Global Technical Support \( グローバルテクニカルサポート \)](#) をクリックしてください。
  - b **Contact Technical Support ( テクニカルサポートへの問い合わせ )** ページには、Dell EMC グローバルテクニカルサポートチームへの電話、チャット、または電子メール送信のための詳細が記載されています。

## マニュアルのフィードバック

任意の Dell EMC マニュアルページでマニュアルを評価するかフィードバックを書き、**Send Feedback ( フィードバックの送信 )** をクリックしてフィードバックを送信することができます。

## QRL によるシステム情報へのアクセス

Quick Resource Locator ( QRL ) を使用して、お使いのシステムの情報にすぐにアクセスできます。

### 前提条件

お使いのスマートフォンまたはタブレットに QR コードスキャナがインストールされていることを確認します。

QRL には、お使いのシステムに関する次の情報が含まれています。

- ハウツービデオ
- オーナーズマニュアル、LCD Diagnostics ( 診断 )、機械的概要などの参照資料
- 特定のハードウェア構成および保証情報に簡単にアクセスするためのシステムのサービスタグ
- テクニカルサポートや営業チームへのお問い合わせのためのデルへの直接的なリンク

#### 手順

- 1 **Dell.com/QRL** にアクセスして、お使いの製品に移動する、または
- 2 スマートフォンまたはタブレットを使用して、アプリアンス上または Quick Resource Locator セクションにあるモデル固有の Quick Resource ( QR ) コードをスキャンします。

## XC430 Xpress 用の Quick Resource Locator



図 38. Quick Resource Locator